

青森県獣医師会報

No.199

2024

目 次

〔定時総会〕

公益社団法人青森県獣医師会
第76回定時総会報告……………事務局…1

〔資料〕

青森県における監視伝染病発生状況
……………青森県農林水産部畜産課…7
青森県における食中毒発生状況
……………青森県健康医療福祉部保健衛生課…8
第64回北海道・東北ブロック令和5年度
家畜保健衛生業績発表会選出全文原稿
管内における高病原性鳥インフルエンザ
発生農場の経営再開に向けた取組
……………阿部日向子 他…9
高病原性鳥インフルエンザが発生した
大規模採卵鶏農場における分割管理を
取り入れた経営再開
……………武井 裕佳 他…13
肉用牛繁殖農場で発生した真菌性流産
……………大澤 光紗 他…17
犬と猫のマイクロチップ手数料の変更について
……………青森県動物愛護センター…21

〔臨床ノート〕

275号 複雑な経過を辿った子宮蓄膿症一例…………22
276号 盲腸拡張と捻転を呈した
黒毛和種子牛の1例……………24

〔会員だより〕

お山歩日記（第15回）
……………西北支部 角田 裕美…26
「radiko」ご存知ですか？
……………下北支部 松本 敦…29
国内旅行 - 手始めに東北へ-（3）
……………上十三支部 中島 聡…33

〔新入職員紹介〕

青森県農林水産部の新入職員を紹介します
……………事務局…36

〔お知らせ〕

青森県獣医師会長杯ゴルフコンペ2024開催
……………青森支部 沼宮内春雄…36

〔事務局だより〕

……………37

〔編集後記〕

……………40

令和6年度
東北地区獣医師大会 獣医学術東北地区学会…41
北里大学公開講座……………42



令和6年7月1日

公益社団法人 青森県獣医師会



日本獣医師会・獣医師倫理綱領

獣医師の誓い—95年宣言

人類は、地球の環境を保全し、他の生物と調和を図る責任をもっている。特に獣医師は、動物の健康に責任を有するとともに、人の健康についても密接に関わる役割を担っており、人と動物が共存できる環境を築く立場にある。

獣医師は、また、人々がうるおいのある豊かな生活を楽しむことができるよう、広範多岐にわたる専門領域において、社会の要請に積極的に応えていく必要がある。

獣医師は、このような重大な社会的使命を果たすことを誇りとし、自らの生活をも心豊かにすることができるよう、高い見識と厳正な態度で職務を遂行しなければならない。

以上の理念のもとに、私たち獣医師は、次のことを誓う。

- 1 動物の生命を尊重し、その健康と福祉に指導的な役割を果たすとともに、人の健康と福祉の増進に努める。
- 2 人と動物の絆（ヒューマン・アニマル・ボンド）を確立するとともに、平和な社会の発展と環境の保全に努める。
- 3 良識ある社会人としての人格と教養を一層高めて、専門職としてふさわしい言動を心がける。
- 4 獣医学の最新の知識の吸収と技術の研鑽、普及に励み、関連科学との交流を推進する。
- 5 相互の連携と協調を密にし、国際交流を推進して世界の獣医界の発展に努める。

公益社団法人 青森県獣医師会第76回定時総会報告

事務局

令和6年6月13日（木）、午後1時から青森市“アップルパレス青森 ねぶたの間”において、公益社団法人青森県獣医師会第76回定時総会が開催されました。

今年は、宮下宗一郎青森県知事が総会に出席され、ご祝辞を頂きました。また、総会終了後の懇親会も立食形式により盛大に開催され会員相互の親睦を深めました。

【黙 禱】

昨年度、ご逝去された5名の会員に黙禱が捧げられました。

【名誉会員称号記授与】

昨年度、名誉会員に推薦された次の2名の会員に称号記が会長から授与されました。

第109号 三八支部 宮野 進 先生

第110号 青森支部 山口 眞 譽 先生（代理：青森支部 石山 治）

【会長挨拶】

今年は、宮下青森県知事をはじめ、多数のご来賓の出席を賜りありがとうございます。

さて、今年元日に能登半島地震が発生し大変な被害となりました。本会では、支援金を募り対応させていただきました。一刻も早い復旧と復興を願っております。

家畜伝染病の豚熱は国内で収束しておらず、5月、岩手県のワクチン接種農場で発生しました。本県もワクチン接種による防疫体制ですので注意する必要があります。さらに、韓国からのアフリカ豚熱国内侵入が危惧されています。

高病原性鳥インフルエンザは、昨シーズンの84事例に比べ今シーズン11事例と少なく、暖冬や衛生管理の徹底による結果だと考えています。

一方、家畜保健衛生所、食肉衛生検査所、保健所に勤務する公務員獣医師が減少しています。国や福岡県、徳島県では既に専用の給料表を取り入れています。優秀な人材を採用するためには、これに加え待遇改善が必要です。

次に、狂犬病予防注射です。令和5年度は約4万頭に接種し、接種率では対前年約96%となりました。年々、3～4%の割合で減少を続けていますが、予防注射に従事された会員、関係市町村担当者のご尽力によるものと感謝します。

一方、今年2月、群馬県で無登録、狂犬病予防注射をしていない犬の咬傷事件がありました。厚生労働省は、令和4年の犬の登録数を約607万頭と公表し、ペットフード協会の調査数約685万頭と78万頭の差があります。県内にも多くの未登録犬がいると推定されます。狂犬病を予防するため全ての犬を登録する必要があり、引き続き関係者と連携し狂犬病予防対策を啓発して参ります。

さて、昨年10月に獣医療法第17条の広告制限が見直しされ、獣医師の専門性に関する広告が緩和されました。県民の皆様が多様な獣医療サービスを適切に選択できるよう、引き続き会員の動物病院情報を正確に発信するこ



小山田会長 挨拶

ととしています。

次に、食鳥検査事業です。令和5年度の検査羽数は、約6,500万羽と事業開始から1.5倍の実績となりました。今後とも、検査技術の向上に努め本会が検査した「国内鶏肉は安全である。」という消費者の信頼に応えて参ります。

本年4月、「ワンヘルスを世界に」をライフワークとしている日本獣医師会の藏内会長が世界獣医師会の次期会長に選出されました。任期は2026年4月から2年間で、2026年4月には31年振りに日本で世界獣医師大会が開催されます。本会としても、「人の健康」、「動物の健康」、「環境の健全性」を一つの健康と捉えるワンヘルスの啓発のため、新興・再興感染症、薬剤耐性などの実践活動を支援することとしています。

さて、本年9月24日、25日に本会が東北地区獣医師大会と獣医学術東北地区学会を開催します。市民公開特別講演は、三内丸山遺跡センターの岡田康博所長に講演して頂きますので、皆様よろしく願いいたします。

【来賓者祝辞】



宮下知事 祝辞

来賓者を代表して、特に宮下知事から、

「本県の畜産は、りんごに次いで約900億円と2番目の産業。畜産と県民の健康を支える獣医師の存在は非常に大切。これまで獣医師については、光が当たっていなかった。今後、獣医師職員と対話を行い獣医師職員のやるべき仕事を整理したい。」

との内容のご祝辞を頂きました。

特に会長挨拶での県職員処遇等について応える内容でした。



左近允先生 祝辞

また、北里大学獣医学部長の岡野昇三先生の出席がかなわなかったため、学部長代理として左近允 巖 附属動物病院長から、

「当大学は、ヒト・動物・環境を一体とした青森県に馴染んだ教育を展開している。現在、青森県出身の学生は6名で勉学に励んでおり、修学資金を頂いている学生もいる。今後とも県と連携して県職員確保に協力したい。今年4月の入学生から動物資源科学学科が相模原キャンパスに移動している。少子化の影響によるもので、私立大学である当大学も学生確保に努力している。」と青森県と大学との関係を強調する内容のご祝辞をいただきました。

その後、御来賓7名の方々のご紹介がありました。



御来賓の皆様

(御来賓の方々)

青森県健康医療福祉部長	代理 次長	泉 谷 和 彦	
青森県農林水産部長	代理 次長	及 川 正 顕	
青森県健康医療福祉部保健衛生課長	代理 副参事	横 山 孝 仁	
青森県農林水産部畜産課	課長	田 中 慎 一	
青森県農業共済組合	組合長理事	中 山 竹千代	
(一社) 青森県畜産協会会長	代理 専務理事	中 野 晋	
青森県動物薬品器材協会会長	代理	高 橋 桂	(敬称略)

【出席会員数報告】

事務局から本日の出席者が報告され、「本定時総会は定款第18条第1項の規程による総会成立定数である会員総数の過半数に達しており、本定時総会は成立する」ことが告げられました。

会 員 数：396名 過 半 数：199名
本人出席： 62名 有効委任状：225名 計287名

【議長の選出及び議事録署名人の選任】

恒例により小山田会長が仮議長となり、議長選出について諮ったところ「仮議長一任」との声があり、定款第16条の規定に基づき出席正会員の中から上十三支部の中島聡先生が指名されました。

次に中島議長は、議事録署名人に青森支部の佐藤尚人先生及び上十三支部の太田智恵子先生を、書記に事務局の伊東主事を指名しました。



中島 議長

【議案の審議】

中島議長により議事が進められ、議案は全て事務局長である盛田常務理事が説明しました。

第1号議案 令和5年度事業報告書及び計算書類等の承認について、総括的事業実施事項、公益目的別事業の実施項目及び実施概要について説明がありました。

続いて、賃借対照表、正味財産計算書、財産目録、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表、付属明細書についての概要説明がありました。次に、高村定男監事から監事を代表して監査報告がなされました。

その後、議長が質疑・意見を諮ったところ、青森支部獣医師会の工藤洋一先生から

「10年前と比較し調べてみると会員が10%減少している。勤務獣医師の減少、開業獣医師の減少傾向、高齢化。獣医師会の入会・退会など異動が多い女性の勤務のあり方などが気になる。会員の減少は全国的にどうなのか。また、産官学では、獣医師だとか獣医師の役割をどのように評価しているのか。」との旨の質問がありました。



青森支部 工藤先生

この質問について、小山田会長から

「獣医師になったら獣医師会に入るのが、当然ではなくなっている。スキルアップにも色々な勉強会がオンラインで可能となっている。日本獣医師会では、ステューデントドクターとして5・6年生に日本獣医師会雑誌を配付し加入に繋げようとしているが、会員の減少傾向は全国的なものである。獣医師になる学生は東京近郊がほとんどで学費が2～3千万円かかるため、処遇・待遇が改善されなければ小動物とかに行先が決まってくる。結局、女性獣医師については、所謂、3Kが原因で辞めるということもあるのかも知れません。」との旨の回答がありました。また、盛田常務理事から、「昨年の県獣医師会報10月号（No196）に東北全体の状況、今後の会員の推移等について詳しく記載しているので、ご一読ください」との補足回答がありました。



盛田常務理事

第2号議案 令和6年度の事業計画書及び収支予算書の報告について、事務局から総括的事业実施計画及び予算書について、概要説明がありました。これを受け議長は、質疑意見等を諮りましたが、全員異議なく承認されました。

第3号議案 令和6年度会費の額及び徴収方法について説明がありました。これを受け議長は質疑意見等を諮りましたが、全員異議なく承認されました。

第4号議案 名誉会員の推薦について、事務局から来年度、青森支部の深尾隆史先生、上十三支部の苫米地繁雄先生、中村徹先生、下北支部の大内忠先生を推薦したい旨の説明がありました。これを受け、議長は、質疑意見等を諮りましたが、異議なく承認されました。

第5号議案 役員改選について、青森県職員定期人事異動に伴う理事3名、監事1名の承認についての提案が事務局からありました。これを受け議長は、定款第18条第3項の規定に基づき理事及び監事各候補者について個別に賛否を諮ったところ、全員異議なく承認されました。

第1号議案から第5号議案までの審議が終了し総会が終了しました。その後、直ちに第3回理事会が開催され、新役員の紹介や今後の獣医師会の方針について話し合われました。



総会会場（ねぶたの間）

◎ 新理事並びに監事について

県職員の定期人事異動により、総会で新たに4名の方々が承認され新役員となりました。

なお、任期は令和6年6月13日から令和7年6月の総会日まで1年間となりますので、よろしくお願ひします。

1 理事

選出区分		氏名	所属
1区	青森支部	松坂千亜紀	青森県動物愛護センター
5区	上十三支部	中里雅臣	中央家畜保健衛生所
9区	公衆衛生部門	田中成子	青森県食肉衛生検査所三沢支所

なお、松坂理事については、昨年、9区公衆衛生部門推薦の理事でしたが、今回は青森支部からの推薦となります。また、9区公衆衛生部門から田中成子先生が推薦され理事に承認されました。

2 監事

選出区分	氏名	所属
理事選出に係る1・6区	林敏展	中央家畜保健衛生所

なお、林監事については、中央家畜保健衛生所青森市駐在（病性鑑定課）に勤務。

○ 名誉会員称号記式典

名誉会員称号記を贈呈された宮野先生から「本日、お招き頂き、誠にありがとうございます。現在、南部町に住んでおります。会場では、懐かしい方々の顔がみられ、懇親会では楽しくお話をさせていただきました。どうもありがとうございました。」とのコメントをいただきました。



名誉会員称号記の贈呈



名誉会員 宮野 進 先生

懇親会が盛大に開催され、会員相互の親睦が図られました!!

懇親会は、会長から総会へのご協力について挨拶があり、石澤副会長の乾杯により懇親会が盛大に開催されました。

また、当会の賛助会員であるクレディセゾンの棟方さんと横山さんから「いつもお世話になっております。会員の皆様の生活を豊かにするため少しでも協力して参ります。」と業務の紹介がありました。

久しぶりに会員が集まって、短い時間でしたが美味しい料理とお酒をいただき、会話に花を咲かせていました。最後に上十三支部の成田浩志先生が中締めを行い懇親会が終了しました。



懇親会挨拶 小山田会長



乾杯 石澤副会長



賛助会員 クレディセゾン
左 横山さん 右 棟方さん



中締め 成田 浩志 先生



懇 親 会 場

青森県における監視伝染病発生状況

青森県農林水産部畜産課

1 監視伝染病の発生状況

(単位：頭、羽、群)

区 分		年 次				
		令和元	2	3	4	5
家畜伝染病 (法第2条)※	高病原性鳥インフルエンザ			10	12	2
	ヨーネ病	5	14	9	10	4
	腐蛆病		14			
届出伝染病 (法第4条)※	牛伝染性リンパ腫 (BLV)	70	68	87	74	72
	サルモネラ症・牛	12		3	3	3
	破傷風・牛	1	2			3
	馬鼻肺炎					
	豚丹毒	9	6	8	8	27
	サルモネラ症・鶏			3		
	鶏伝染性気管支炎		5	4		18
	鶏伝染性喉頭気管炎					8
	鶏痘			2		
バロア症 (みつばち)	1					
アカリングニ (みつばち)						

※法：家畜伝染病予防法

○令和5年次監視伝染病の家畜保健衛生所別発生状況

(単位：頭、羽、群)

区 分		青 森	八 戸	十和田	む つ	つがる	小 計	合 計
高病原性鳥インフルエンザ	農 場	2					2	2
ヨーネ病	新 規			4			4	4
	継 続							
牛伝染性リンパ腫 (BLV)	と畜場		14	20	1		35	72
	農 場		4	32	1		37	
サルモネラ症・牛	農 場			3			3	3
破傷風・牛	農 場			3			3	3
豚丹毒	と畜場			27			27	27
鶏伝染性気管支炎	農 場		12	6			18	18
鶏伝染性喉頭気管炎	農 場		8				8	8

2 死亡牛の牛海綿状脳症 (BSE) 検査状況

(単位：頭)

区 分	年 度					青森県の状況
	令和元※	2	3	4	5	
青森県	302	297	268	242	256	○平成15年度、茨城県の発生に係る疑似患畜29頭を検査し陰性を確認
全 国	23,734	22,568	21,428	21,002	4,206※※	○平成15年検査開始から7,850頭を検査。全て陰性

※ 平成31年3月末までの検査対象は48か月齢の死亡牛。新たに平成31年4月1日から検査対象を歩行困難、起立不能を呈した48か月齢以上の死亡牛と96か月齢以上の死亡牛に変更

※※ 令和5年度の全国検査頭数は、令和5年6月30日までの成績

青森県における食中毒発生状況

青森県健康医療福祉部保健衛生課

1 令和4年度発生状況

県保健所管轄分

発生月日	発生場所	摂食者数	患者数	死亡数	原因食品	病因物質	原因施設
2. 3	下北郡	45	9	0	施設が調製した弁当	ノロウイルス	飲食店
8. 24	不明	不明	4	0	不明	カンピロバクター	不明
9. 18	五所川原市	1	1	1	フグ (マフグ(推定))	動物性自然毒	飲食店
計			14	1			

中核市発生分

病因物質	発生件数	患者数	中核市名
カンピロバクター	1	2	八戸市
計	1	2	

2 令和5年度発生状況

県保健所管轄分

発生月日	発生場所	摂食者数	患者数	死亡数	原因食品	病因物質	原因施設
7. 11	三戸郡	57	26	0	施設が提供した弁当	黄色ブドウ球菌	飲食店
8. 28	五所川原市	不明	16	0	イベントスタッフに提供された弁当	サルモネラ	不明
9. 23	つがる市	3	3	0	きのこの味噌汁 (アセタケ属キノコ(コブアセタケ類似種))	植物性自然毒	家庭
10. 3	不明	不明	3	0	不明	カンピロバクター	不明
12. 4	黒石市	40	18	0	施設が提供した食事及び弁当	ノロウイルス	飲食店
1. 2	十和田市	287	59	0	施設が提供した食事	ノロウイルス	飲食店
計			125	0			

中核市発生分

病因物質	発生件数	患者数	中核市名
黄色ブドウ球菌・セレウス菌	1	554	八戸市
計	1	554	

令和5年度青森県家畜保健衛生業績発表会全文原稿について

事務局

令和6年1月26日（金）、青森市の「アピオ青森イベントホール」において開催された令和5年度青森県家畜保健衛生業績発表会において、北海道・東北ブロック家畜保健衛生業績発表会に選出された3題の全文原稿を掲載します。

管内における高病原性鳥インフルエンザ発生農場の経営再開に向けた取組

東青地域県民局地域農林水産部青森家畜保健衛生所 ○阿部日向子 佐藤 郷子
菅原 健 森山 泰穂

1 はじめに

令和5年3月24日、管内採卵鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザ（以下、HPAI）が発生した。発生当時、当該農場では採卵鶏約33万羽を全14鶏舎で飼養しており、3月30日に防疫措置を完了した。

今回、当該農場における防疫措置完了後の経営再開に向けた取組について取りまとめたので、その概要を報告する。

2 経営再開における課題

(1) 鶏ふんの処理

防疫措置完了後の経営再開の流れを図1に示した。経営再開に向けては各段階を踏んでいくこととなるが、立入検査を始めるためには、農場内の排せつ物等に含まれる病原体の不活化に必要な処理が完了している必要がある。

しかし、発生時、当該農場の開放鶏舎では鶏ふん攪拌機の故障により、堆肥化処理が遅延し、鶏舎1階には水分を含んだ多量の鶏ふんが堆積されていた。このため、国との協議に基づき、発酵消毒による封じ込め措置で処理することとした。40日静置後にウイルス分離検査で陰

性を確認したが、中心温度が60℃に達しなかったため、さらに50日静置して不活化処理を完了した。当初は、封じ込め及び堆肥化処理完了に半年以上の時間を要し、経営再開が遅れると見込まれた。

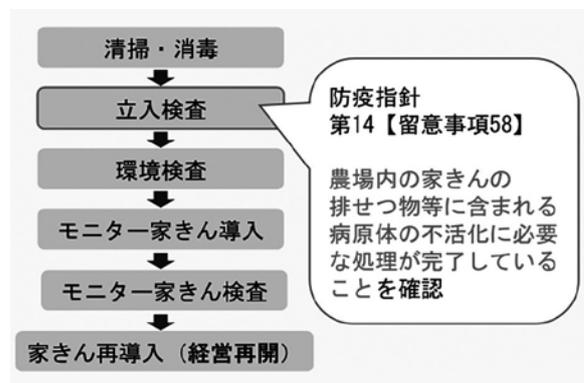


図1 経営再開の流れ

(2) 系列育成農場の雛の扱い

当該農場は、隣接する系列育成農場から定期的に雛を導入しており、本来114日齢で出荷されるが、移動制限により出荷できない状況となった。施設の構造上、出荷日齢を超えた飼育は困難で、飼料が高騰していることもあり、出荷日齢に達する前に廃用とすることも経営上の選択肢となっていた。

3 経営再開に向けた取組

上記の課題により経営再開が困難になる恐れがあったため、国と協議し、3ブロックに分けて段階的に再開することを計画した。

(1) 段階的な経営再開

全14鶏舎を、まず鶏ふんの堆積がない①西ブロックウインドレス（WL）鶏舎、その後、鶏ふんの処理を進めながら②西ブロック開放鶏舎、③東ブロック開放鶏舎の順で再開することとした。

各ブロックでの再開に向けては、再開エリアと非再開エリアを分離する必要があったため、衛生管理区域を再設定した。鶏舎作業員を専従化し、農場専用衣類及び長靴を着用する更衣専用室を新設した（図2）。

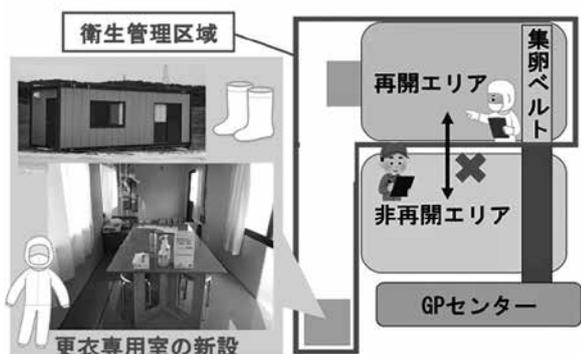


図2 再開エリアと非再開エリアの分離

また、再開鶏舎の入口に前室を新設し、自動手指消毒機や鶏舎専用長靴を設置することで、再開エリアの交差汚染を防止した（図3）。

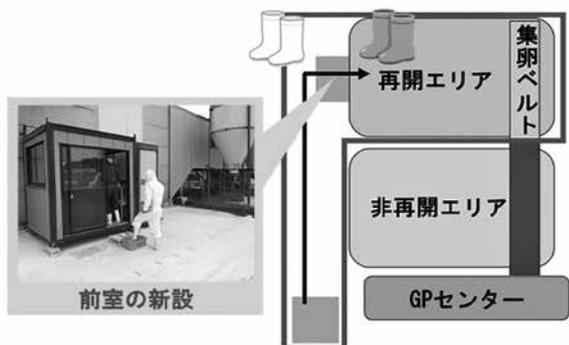


図3 再開エリアの交差汚染防止

鶏舎を周回する集卵ベルトについては、非再開エリアの集卵ベルトをブルーシートで被覆することによって、再開エリアから出荷される卵を隔離した（図4）。

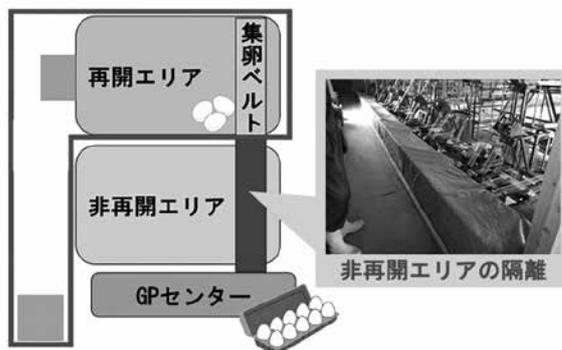


図4 再開エリア出荷卵の隔離

段階的に経営を再開したことで、準備が完了したブロックから家きんの再導入が可能となり、当初半年以上と見込まれた再開までの期間を3か月に短縮した。また、再開計画を調整したことで、系列育成農場の雛3群のうち2群を採卵鶏として活用することができた。

(2) 飼養衛生管理方法の見直し

経営再開にあたって、飼養衛生管理基準の遵守状況を確認したところ、発生時の疫学調査で指摘された事項を中心に改善されていた（図5）。

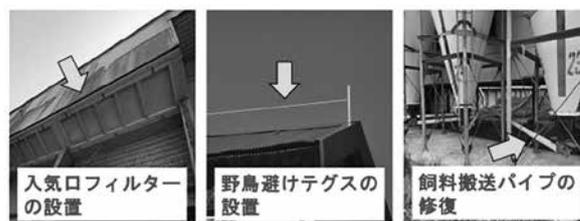


図5 飼養衛生管理方法の見直し

また、飼養衛生管理基準に係る勉強会を開催し、衛生管理の再徹底を周知した。これまでは、飼養衛生管理者への指導が中心となっていたが、全従業員を対象としたことで、農場全体

で認識を統一することができた。

近隣のため池の野鳥対策が長年の課題となっていたが、改めて自治体と対策を検討した結果、冬期間の水抜きを実施することができ、野鳥の飛来防止に成功した（図6）。



取組前

取組後

図6 ため池の野鳥対策

(3) 新たな埋却地の選定

経営再開に際して、新たに埋却地を確保する必要があったが、自己所有地の大半は湿地で、過去の試掘調査で不適と評価されていたため難航した。

また、全国の発生事例において、埋却後に周囲への影響が問題となっていたため、より慎重に選定する必要があった。

このため、農場、自治体、地域農村整備建設協会と連携し、いくつかの埋却候補地の現地確認を行った（図7）。



図7 埋却候補地の現地確認

その中で「適している」と評価された埋却候補地の試掘を実施して、実際に作業する業者と埋却計画を検討した上で埋却地を選定した（図8, 9）。



図8 埋却候補地の試掘

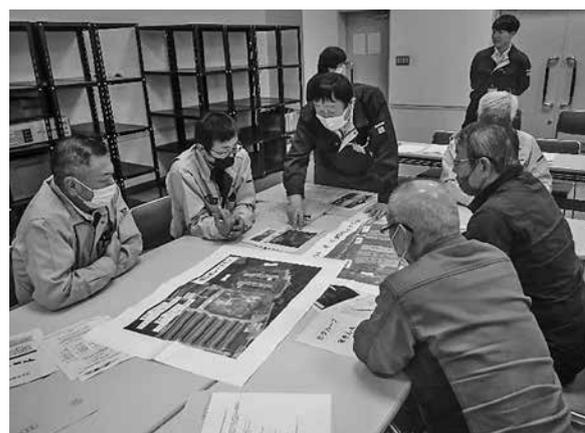


図9 埋却計画の検討

4 経営再開を支援して

前述の取組により、当該農場は経営を再開した。しかし、当所が経営再開を支援する中で、さらに検討を必要とする取組もあったため、次のとおり整理した。

(1) 埋却処理の限界

埋却処理の場合は、実際に埋却完了したその後問題が顕在化するリスクがある。また、一度使用した埋却地は再利用できないため、新たに埋却地を確保する必要がある。このことから、埋却に限らない処理方法を想定する必要がある。

あると考え、焼却処分について検討した。

管内の2つの焼却施設を対象に、焼却処理への対応が可能かどうかを確認したところ、両施設とも、「施設の構造上、対応が難しい」との回答があった。

したがって、現状は管内に焼却処理に対応できる施設がなく、処理に時間を要する大規模農場は、埋却処理以外を選択できない状況であることが判明し、地域としての課題が顕在化した。

(2) へい殺畜等手当金の手続き

当該農場では、書類の保管が適正に行われていたことから、必要な書類を滞りなく確保し、申請書の作成を開始した。その結果、手当金の交付を完了し、経営再開の一助とすることができた。

経営維持のためには、円滑な手続きが必要となる。今後は、より早い手当金交付実現のため、手続きの根拠や流れを記録に残し、過去発生事例の手続きについて、県内で情報共有することが必要である。

5 まとめ

本発表の成果を図10に示した。経営再開に向け、飼養衛生管理方法の見直しや新たな埋却地確保に取り組み、県内初となる段階的な経営再開を実現した。その結果、当初の想定より早期に経営を再開することができた。

今後は、HPAI発生リスクの低減や農場としての経営基盤強化も見据え、農場の分割管理や埋却に限らない処理方法などについて検討する。引き続き関係機関と連携し、課題を解決しながら、地域のHPAI防疫体制強化に努めていく所存である。

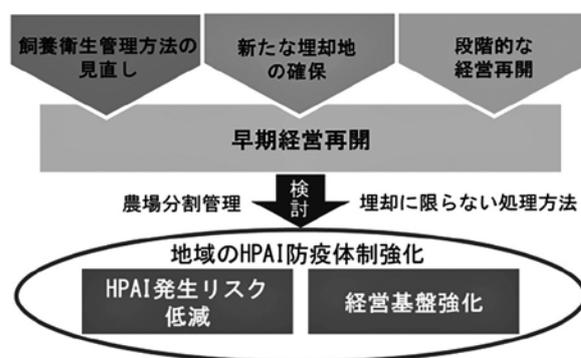
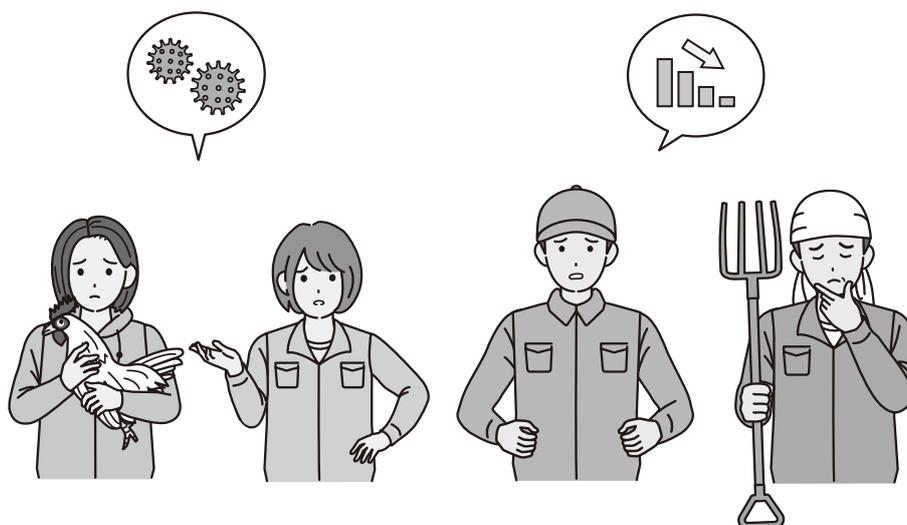


図10 成果



高病原性鳥インフルエンザが発生した 大規模採卵鶏農場における分割管理を取り入れた経営再開

上北地域県民局地域農林水産部十和田家畜保健衛生所

○武井 裕佳
二俣 雅之
佐藤 美侑
田中 慎一

方波見将人
折坂つぐみ
太田智恵子

1 背景

当所管内は県内の主要な養鶏地域の1つである。中でも三沢市は小川原湖と太平洋に挟まれた特定のエリアに、昨シーズン高病原性鳥インフルエンザ（以下、HPAI）が発生した県内最大規模の養鶏場を含む養鶏関連施設（養鶏場18箇所、GPセンター4箇所、食鳥処理場1箇所）が密集した地域である。（図1）

今回、HPAIの発生を経験した農場の再発防止対策に加え、発生時のリスク分散のため農場の分割管理に取り組んだのでその概要を報告する。

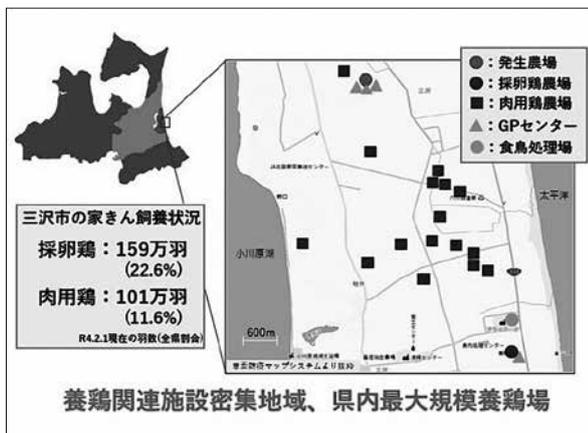


図1 発生地域の家きん飼養状況

2 発生概要

(1) 発生農場概要

発生農場は、三沢市で採卵鶏約139万羽を飼育しており、昨シーズン発生した農場では国内最大規模となった。鶏舎数は、ウインドレス及び開放鶏舎、合わせて46鶏舎。付帯施設として、敷地内に集卵場及びGPセンター等を複数

か所整備している。

令和4年12月15日に発生が確認され、防疫措置期間は同月30日までの16日間であった。

(2) 防疫措置

防疫措置には県職員に加え、自衛隊、県内の全市町村職員、畜産及び建設関係団体、発生農場従業員を含む延べ9,174人を動員した。（表1）

表1 防疫措置動員者数

作業区分	1日 12/16	2日 12/16	3日 12/16	4日 12/16	5日 12/16	6日 12/16	7日 12/16	8日 12/16	9日 12/16	10日 12/16	11日 12/16	12日 12/16	13日 12/16	14日 12/16	15日 12/16	16日 12/16	延人数 (人)
鶏殺処分	県職員等															6,936	
	白衛隊																
卵 詰込	農場、建設業関係団体等															352	
	埋 却																
鶏糞封込 鶏舎等消毒	建設業関係団体等															809	
	農場等																
その他	県、市町村、建設業関係団体、農場等															715	

発生農場の防疫作業に延べ9,174人を動員

3 経営再開の検討と経過

(1) 分割管理の導入

当該農場の鶏卵生産による年間売上額は約70億円であり、HPAIの発生による経済損失は甚大であった。また、100万羽を超える大規模農場であったことから、防疫作業には多数の人員が必要であった。

発生時の全羽殺処分を回避することによる経営負担の軽減、また防疫作業への負担の軽減を図るため、農場を複数に分けて鶏を飼養管理する「分割管理」の導入を検討した。（図2）

(2) 分割管理開始までの経過

防疫措置終了後、今後の経営再開を進める中、令和5年1月に行われた家きん疾病小委員会以降、分割管理の考え方が示されたことから、本格的に検討を開始した。

先進事例が無かったため、国へ意見照会しながら検討を進め、6月に家きん飼育を再開し、7月から施設整備等の工事を開始した。その後国のマニュアルに沿って整備を進め、昨年11月に分割管理を開始した。



4 分割管理への取組

分割管理を行うにあたり、施設整備とそれらを管理・運営していく分割管理運用マニュアル作成の2つが重要であると考え、取組を進めた。

(1) 施設整備について

この農場は、既存施設として分割管理に必要なGPセンター（3か所）・集卵場（3か所）及び堆肥舎（8か所）を所有している。これに加え、入退場時に必要な従業員の更衣室に活用可能な施設も所有していることから、これらを活用することとした。

また新たに整備する施設として、全ての農場出入口の消毒ゲートや、既存施設では不足する更衣室や境界柵、堆肥舎を順次追加して整備することとした。

そのため当初は、施設の整備状況に応じて、

条件のそろった農場から段階的に分割管理を開始する計画とした。

(2) 分割管理運用マニュアルについて

施設の管理運営に必要なマニュアルについて、分割管理の運用・HPAI発生時対応のルール化が必要であり、全ての従業員にそれらを周知し、正しく運用する必要があるため、研修会を行うこととした。

5 分割計画

図3の破線部は分割管理開始前の鶏舎配置を示し、★は発生鶏舎の位置を示している。

(1) 既存施設の利用について

図3に示すとおり、鶏舎群毎に集卵場もしくはGPセンターが設置され、堆肥舎が西側に多く配備されていた。また、女子寮として使われていた施設は従業員用更衣室として改修し活用することとした。

(2) 新設施設の設置について

各農場入り口に消毒ゲート及び外来者用更衣室、従業員用更衣室を設置し、堆肥舎を1棟新設することとした。また、鶏舎、GPセンター及び堆肥舎の位置関係より農場の境界を定め柵を設置した（図4）。

堆肥舎の建設には期間を要することから、まずは設備要件を満たした第三農場と第一・四農場に2分割し、堆肥舎完成後に3分割することとした。

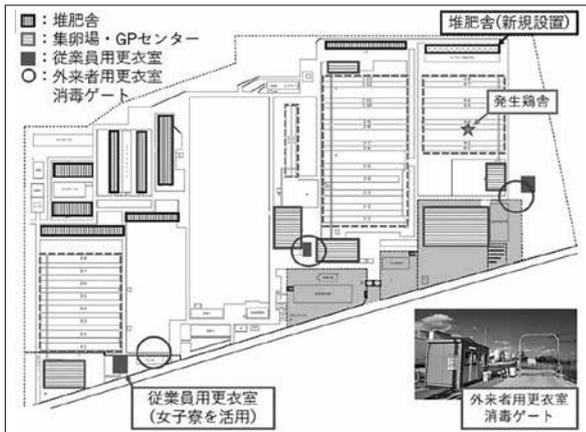


図3 農場内配置図(分割前)

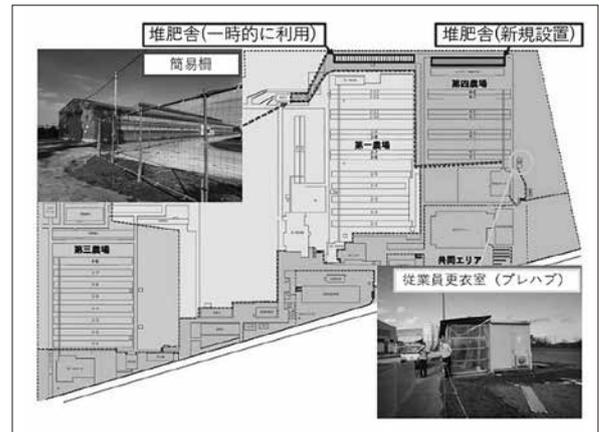


図5 3区画一括での分割管理の開始

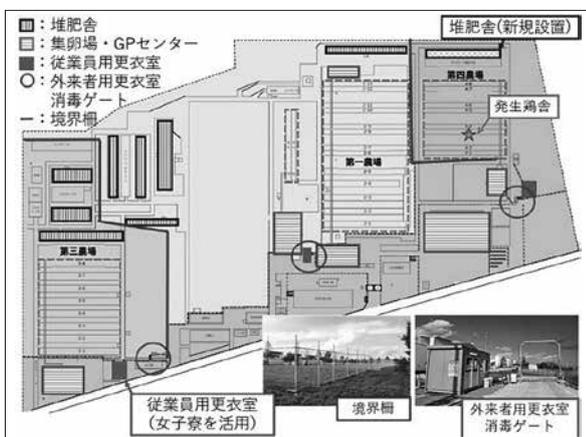


図4 農場内配置図(分割後)

6 分割管理を進める上での課題と計画の変更

当初計画していた施設の整備状況に応じた分割は、その都度入退場時等のルール変更があるため従業員の混乱を招くことや、発生鶏舎群をHPAIシーズンの11月までに分割し終えたいという農場の要望から、段階的な分割管理の開始ではなく、3区画一括での分割管理開始へ計画を変更した。

そのため、図5に示す位置に堆肥舎が整備されるまでの間、西側に位置する堆肥舎を活用することとした。また、一時的に点線の位置を衛生管理区域の境界として簡易柵を設置し、第四農場の従業員用更衣室も仮設にて設置することで施設設備体制が整い、第四農場を含む3農場一括の分割管理を開始することが可能となった。

7 既存施設の活用

図3、4の左下に位置する女子寮を従業員用更衣室として改修した。

建物の中で衛生管理区域を設定し、境界を明確に示している。また、入場者と退場者の動線を分け、分割管理運用マニュアルにてそれらのルールを定めた。(図6)

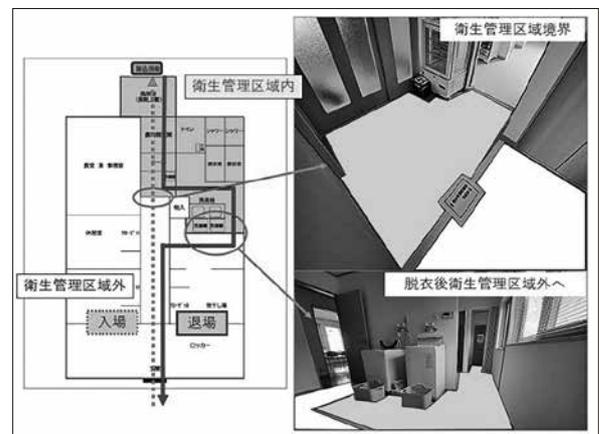


図6 女子寮を活用した従業員用更衣室

8 分割管理運用マニュアルの整備

分割管理運用マニュアルを農場ごとに整備し、分割管理のルール・HPAI発生時対応の2つを定めた。(図7)

分割管理のルールでは農場ごとに従業員を配置すること、入退場手順や人・車両動線について定め、入退場手順について図7のような手順書を作成し更衣室に掲示した。

また、HPAI発生時対応では発生農場従業員の防疫作業内容や隣接農場の対応について定めた。

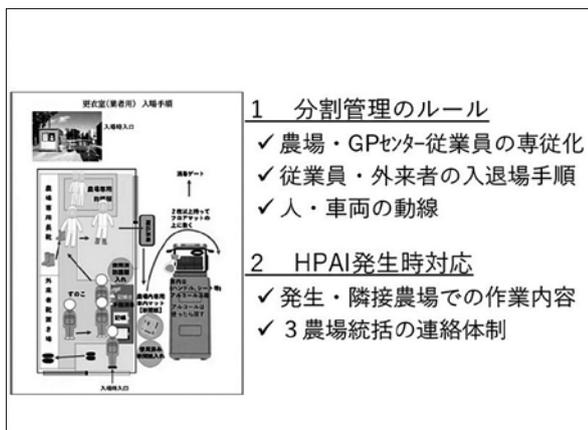


図7 分割管理運用マニュアルについて

9 研修会の開催

分割管理運用マニュアルの内容を周知するため、研修会を複数回実施した。農場規模が大きく従業員数が多いため、参加者全員が出席できるようそれぞれ3回ずつ実施した。

分割管理開始後は農場が主催する勉強会に講師として参加した。対象者は従業員150人で、正社員だけでなくパート職員や技能実習生も参加している。分割管理のルールについて農場が説明を行い、各農場のHPAI発生時対応について家保が説明を行った。

研修後にアンケートを実施したところ、内容は概ね理解されており、継続して開催してほしいという声が複数寄せられた。(図8)

管理者研修会	合同勉強会
実施月日 8月1日～3日(3回)	12月13日～15日(3回)
対象者 衛生管理者等60名	全従業員150名
内容 飼養衛生管理基準	分割管理における農場ルール 各農場の防疫計画・作業内容

参加者へのアンケートでは、**内容は概ね理解、継続開催を強く要望**

図8 従業員対象研修会

10 成果

農場と繰り返し打合せを行いながら（令和5年4月以降、対面18回、メール104回）研修会を実施し、農場が希望する目標期限内に3農場同時に分割管理の開始と分割管理運用マニュアル作成の二つの目的を達成することができた。

また、この成果を通じた衛生管理や防疫対応のレベルアップが、新たな顧客の獲得、販路拡大につながる等、波及効果をもたらした。

11 まとめ

分割管理を行うには、農場の施設整備とそれを運用するためのマニュアルの整備と実践という二本の柱が重要となる。

施設整備では、農場に合わせた設備改修や設備新設のために資金を投入することで分割管理の要件を満たし、マニュアルの整備と実践では、当該農場のルールを定めたマニュアル作成や従業員教育が必要となる。

今回、農場と連携し、この取組を強く支えることで、短期間で分割管理を開始することが可能となった。しかしながら、この取組には終わりではなく、その運用には継続支援が不可欠である。

今後は、当該農場で仮設となっている設備の整備支援に加え、定期的に研修会を実施する等、農場の取組意欲を維持し衛生対策の向上、防疫対策の強化に努めていく所存である。(図9)

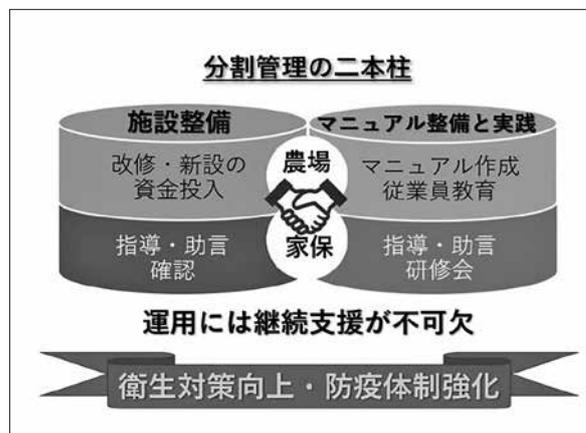


図9 分割管理の二本柱

肉用牛繁殖農場で発生した真菌性流産

上北地域県民局地域農林水産部十和田家畜保健衛生所

○大澤 光紗
高橋 玲
田中 慎一

小田桐千鶴恵
太田智恵子

1 はじめに

牛の流産は原因不明のものが大多数を占め、その中でも真菌性の流産については報告が少なく、病原真菌の特定に至らないというのが現状である。また、胎子に病変を形成する症例も少なく、国内での報告は数少ない。

今年度、管内で流産胎子に病変を形成し、原因の特定に至った症例があったため報告する。

2 発生概要

今回発生があった農場は、肉用牛繁殖農場で、飼養頭数は400頭、うち繁殖牛を200頭飼養している。

令和5年10月1日に胎齢7ヵ月で流産。母牛は交雑種で、35ヶ月齢2産目、ETによる受胎で、流産の前後で臨床症状はなし。なお、この牛は、1産目は死産であった。

流産の翌日、当所に病性検査の依頼があり、解剖を実施した。依頼があったのが流産の翌日であったため、胎盤は農場で廃棄済のため確認ができなかったが、農場の管理獣医師からは、融解し不潔汚穢色を呈していたことから、壊死性胎盤炎を疑う所見を認めたとの稟告があった。

3 剖検所見

胎子の体長は約60cmで、胎齢相応の発育であったが、全身に皮膚病変が見られた(図1)。病変部は灰白色で類円形、大小不同の斑状でやや隆起しており、皮膚糸状菌症の症状と類似していた(図2)。背部には皮下水腫、腹腔には血様の胸水及び腹水の貯留が見られ、その他臓器に著変は認められなかった。

流産及び皮膚病変の原因究明のため、病性鑑定を実施することとした。



図1 全身に皮膚病変が見られた流産胎子

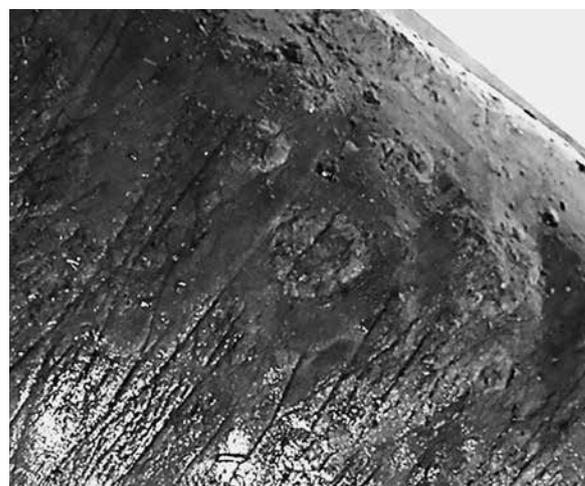


図2 流産胎子皮膚病変部

4 病性鑑定

(1) 材料と方法

ア 病理組織学的検査

流産胎子1頭の皮膚、主要臓器、腸管、臍帯の病理組織学的検査を病性鑑定課に依頼し、ヘマトキシリン・エオジン(HE)染色、PAS染色、グロコット染色、ファンギフ

ローラY染色を行った。

イ 細菌学的検査

細菌学的検査では、皮膚、主要臓器、胃内容物、臍帯、母牛の悪露を、血液寒天培地37℃で好気及び嫌気培養した。胃内容物は、CCDA培地及びスキロー培地37℃で微好気培養も行った。また、ブルセラ症の抗体検査を市販のELISAキットで実施した。

ウ ウイルス学的検査

流産胎子の主要臓器の病理組織切片を材料とし、アカバネウイルス (AKV)、アイノウイルス (AIV)、チュウザンウイルス (CHV)、イバラキウイルス (IBV)、ブルータングウイルス (BTV)、牛ウイルス性下痢ウイルス (BVDV) について遺伝子検査を実施した。

エ 寄生虫学的検査

流産胎子の腎臓の病理組織切片を材料とし、ネオスポラの遺伝子検査を実施した。

オ 生化学的検査

母牛の血清の血液生化学検査を、ドライケミストリー法で実施した。

カ 真菌学的検査

細菌培養と同様の材料をポテトデキストロース培地で培養した。真菌は種によって発育する温度が異なるため、25℃及び37℃で培養を行った。

分離されたものを、ラクトフェノールコットンブルー染色で鏡検した。

(2) 検査結果

ア 病理組織学的検査

皮膚の発疹部において角化亢進が見られ、角質層には完全に角化せず、核が残ったままの錯角化も認められた (図3)。角質層及び毛包内に、PAS染色、グロコット染色陽性の菌糸が認められた (図4)。菌糸は太さが均一で隔壁がみられ、Y字状分岐であること

から、アスペルギルス属真菌であることが確認された。真菌を特異的に染めるファンギフローラY染色では菌糸が見られた部位での発色を確認した (図5)。

腸管では、組織中に病変形成は認められなかったが、空腸・盲腸内容物において、皮膚病変部と同様の菌糸が認められた。

その他の臓器に著変は認められなかった。

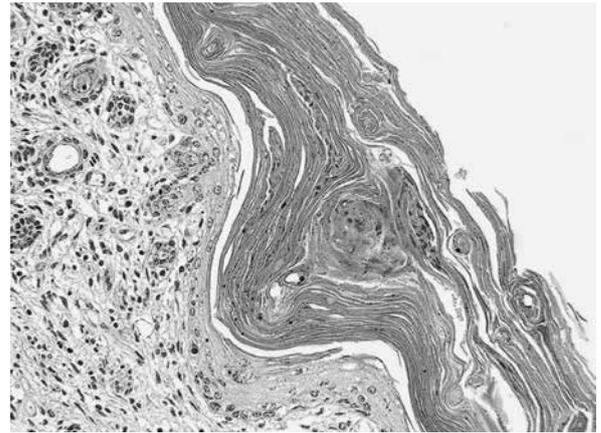


図3 皮膚のHE染色

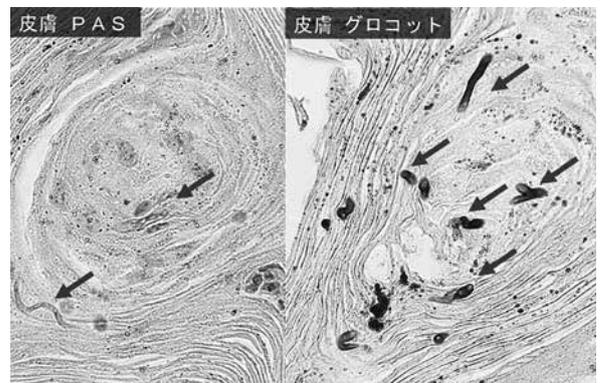


図4 皮膚のPAS染色、グロコット染色

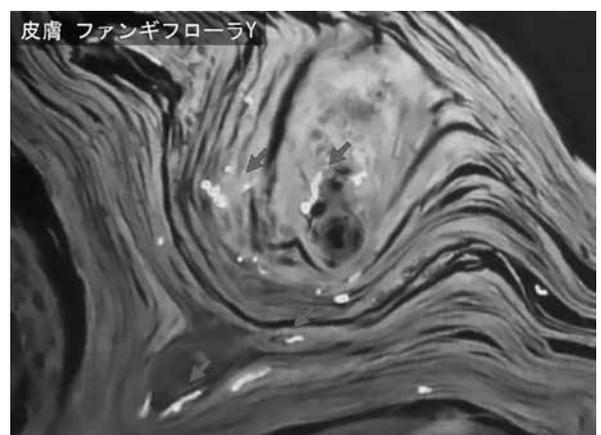


図5 皮膚のファンギフローラY染色

イ 細菌学的検査

有意菌は分離されず、ブルセラ抗体は陰性であった。

ウ ウイルス学的検査

各臓器から、AKV、AIV、CHV、IBV、BTV、BVDVの特異遺伝子は検出されなかった。

エ 寄生虫学的検査

腎臓から、ネオスポラの特異遺伝子は検出されなかった。

オ 生化学的検査

流産前後の母牛の血液検査値に大きな異常は認められなかった（表1）。

表1 母牛血清生化学的検査結果

	流産前	流産後		流産前	流産後	
TP	6.7	6.7	g/dl	GOT	47	51 U/l
Alb	3.4	3.4	g/dl	GGT	47	25 U/l
A/G	1.0	1.0		LDH	640	589 U/l
BUN	10.6	5.9	mg/dl	CPK	47	49 U/l
Cre	0.92	0.99	mg/dl	Ca	10	9.7 mg/dl
Glu	64	86	mg/dl	Mg	2.3	2 mg/dl
T-cho	111	93	mg/dl	IP	6	6.2 mg/dl
T-Bill	0.1	0.1	mg/dl			

カ 真菌学的検査

培養の結果、病理組織学的検査で著変の見られなかった臓器や、臍帯、悪露などからも真菌が分離された。真菌による感染症は、表在性真菌症と深在性真菌症があり、それぞれで発育温度が異なるが、本症例の真菌は25℃、37℃の両方で発育した（表2）。コロニーは白色から茶色で、放射粉状であり、平面的発育を示した（図6）。

コロニーから釣菌し、ラクトフェノールコットンブルー染色で鏡検したところ、分生子を持つ真菌が多数認められた。

亜球型の頂囊の上3分の2を覆うフィアライドが観察されたことから、形態学的にAspergillus属であることが推察された（図7）。

また、菌糸から球状に伸びたアレウリオ型分生子が多数認められた。アレウリオ型分生子は、アスペルギルス属菌の中ではAspergillus terreus (At) のみが形成する分生子であるため¹⁾、形態学的にAtであると推察された（図8）。

表2 真菌分離結果

	25℃	37℃
皮膚（背中）	+	+
皮膚（腿）	+	+
臍帯	+	+
悪露	+	+
心臓	-	-
肝臓	+	+
肺	+	+
脾臓	+	+
腎臓	+	+
胃内容物	+	+
腹水	+	+

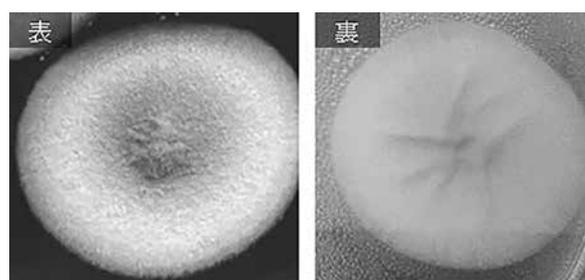


図6 発育コロニー

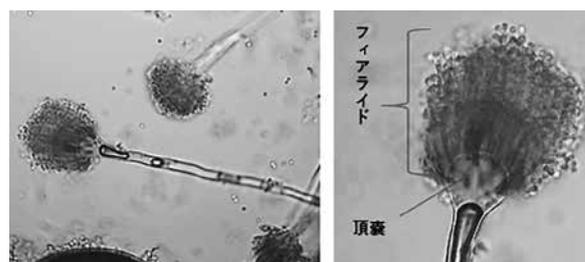


図7 フィアライド

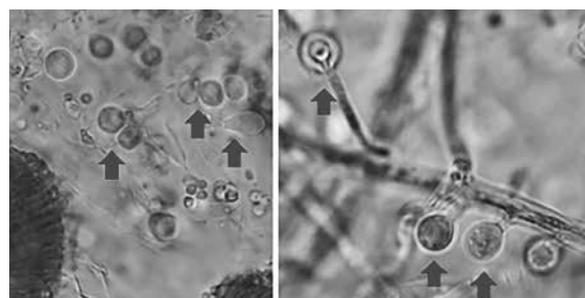


図8 アレウリオ型分生子

(3) 考 察

病理組織学的検査及び真菌学的検査の結果より、本症例は真菌性の流産であることが推察された。また、臍帯で病変が見られず、胃内容物及び悪露で真菌が確認されたことから、羊水を介した胎子への感染が示唆された。

胎子の皮膚は、成牛の皮膚と比べて湿潤・軟性であり、真菌が侵入しやすいため、皮膚病変を形成したと推察された²⁾。

今回分離されたAtは土壌や貯蔵された穀物等、環境中に常在する真菌であることから、感染経路の検討のため、農場で検査を実施することとした。

5 感染経路の検討

(1) 材料と方法

敷料、飼料、飼槽及び水槽の拭取り、母牛の鼻腔、体表、膣のスワブの採材を行った。今回の発生農場ではTMRの製造・保存をともに、農場で行っているため、飼料はTMRの原料及び完成品を採材した。それぞれの材料を、ポテトデキストロース培地25℃で培養した。

(2) 検査結果

環境材料、牛のスワブどちらからも、複数の真菌が分離された。その中でも、水気を含むTMR及び敷料、粘膜面である鼻腔及び膣スワブからは、Atが分離された(表3)。

表3 培養結果

	1番草	2番草	わら	WCS	固床	TMR
真菌	+	+	+	+	+	+
At	-	-	-	-	-	+

	敷料	飼槽	水槽	鼻腔	体表	膣
真菌	+	-	-	+	+	+
At	+	-	-	+	-	+

(3) 考 察

Atは牛舎の環境中にも広く存在しており、健康牛の粘膜面からも分離された。

既報では、外陰部からの上行性感染による真菌性胎盤炎が報告されている³⁾。今回も母牛の悪露から真菌が分離されているため、敷料等から外陰部が汚染され、上行性感染により起こった既報と同様の症例であると推察された。

環境中と牛の粘膜面、それぞれから分離されているが、本症例の流産個体は1頭のみであることから、母牛の免疫状態など、個体の条件が発症に関与していると考えられた。

6 まとめ

本症例は、胎子の病変形成を伴う稀な症例であり、病性鑑定により真菌性の流産と診断し、病原真菌の種の特定に至った症例であった。

真菌は培養の際、コンタミネーションの可能性も高く、診断の際には、真菌学的検査及び病理学的検査の両方を行うことが必要とされている⁴⁾。また、発生機序の解明には、適切な採材による病性鑑定を行うことが必要である。

これらの条件に留意し、今後さらに原因の特定に至る病性鑑定へと繋げていきたい。

7 参考文献

- 1) 関口真樹：牛の*Aspergillus terreus*による壊死性胎盤炎、2016.jul.vol.34.No. 7 臨床獣医
- 2) Gupta, Meera M.D.; Weinberger, Barry M.D.; Whitley-Williams, Patricia N. M.D. : CUTANEOUS ASPERGILLOSIS IN A NEONATE, The Pediatric Infectious Disease Journal 15(5):p 464-465, May 1996.
- 3) 日高育成牧場：馬の資料室 胎盤炎、No.158 (2016年11月1日号)
- 4) Ali, R, and I. H. Khan: Mycotic abortion in cattle. Pakistan Veterinary Journal 26(1),44-46 (2006).

犬と猫のマイクロチップ情報登録手数料の変更について

青森県動物愛護センター

令和4年6月に改正動物愛護管理法が施行され、販売前の犬や猫へのマイクロチップ装着と登録がブリーダーやペットショップ等に義務化されました。

なお、手続は（公社）日本獣医師会が指定登録機関として取り扱っています。

ブリーダーやペットショップ等から犬や猫を購入した方は、所有者を販売者から購入者に変更し飼主の名義情報を更新する必要があります。

情報の更新は、ブリーダーやペットショップから、マイクロチップ装着証明書をもって、犬と猫のマイクロチップ情報登録サイトや紙媒体で変更し登録します。

また、動物病院でマイクロチップを装着した場合にも、獣医師からマイクロチップ装着証明書をもって同様に登録手続きをしなければなりません。

なお、マイクロチップ装着証明書は、登録に必要な情報が記載されていますので、大切に保管してください。

マイクロチップは外れることのない「小さな名札」です。犬や猫が何らかの事情により迷子となったり、災害等により離ればなれになってもマイクロチップを装着していると保護された時に確認され飼主のもとへ戻る確率が高くなります。

そのため、マイクロチップの情報は、大切な動物たちの命を守ることに繋がり、人と動物が幸せに暮らす社会の実現へと導いてくれます。

所有者の変更が生じた場合、速やかに正確な情報を登録しなければ、その役割を果たすことができません。

（詳しくは「犬と猫のマイクロチップ情報登録」サイトを参照ください。）



【手数料の変更】

登録等に係る手数料については、「動物の愛護及び管理に関する法律施行令」により定められています。

昨年12月、施行令の一部改正により令和6年4月1日から次のとおり新しい手数料となっていますので、ご注意ください。

○ オンラインでの手続き

手続	新	旧
情報登録	400円	300円
所有者の変更登録	400円	300円
登録証明書再交付	300円	200円

○ 紙媒体での手続き

手続	新	旧
情報登録	1,400円	1,000円
所有者の変更登録	1,400円	1,000円
登録証明書再交付	1,300円	700円

（公社）日本獣医師会コールセンター：03-6384-5320



複雑な経過を辿った子宮蓄膿症一例

北里大学附属動物病院 小動物診療センター

動物種：イヌ 品種：トイ・プードル
 年齢：13歳 2ヶ月 性別：避妊雌 体重：2.74 kg

●既往歴と主訴

ブリーダーから購入した際に腹部のMASSがあり、緊急対応が必要と言われ手術を行なった。腹部のMASSは臍ヘルニアであり、大事には至らず整復をした。その際に獣医師より同時に子宮卵巢摘出術を提示され飼主は希望し、その後飼主は他院へ転院した。それから約11年後に、元気食欲の消失を認め近医へ、白血球数の上昇、CRPの上昇（7.0以上）腹腔内に構造物を認め、その時は肺炎の治療を行い状態は改善した。その3ヶ月後に同院で乳腺腫瘍の切除を行なった。術後7ヶ月に再び元気食欲の消失を認め同じ近医で白血球数の上昇、CRPの上昇（7.0以上）腹腔内の構造物を認め内部には高エコーの液体貯留が認められた。原因の特定には至らず、一般状態も悪化していたため、精査を目的に本学小動物診療センターに紹介された。

●身体検査所見

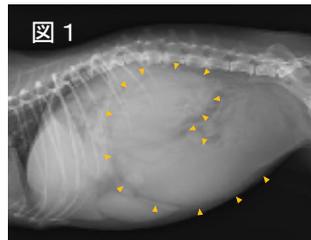
体温 38.8℃、心拍数 126回/min、呼吸数 42回/min、元気消失、脱力

●血液検査所見

WBC 77.09 K/ μ L , NEU 23.4 K/ μ L (Band 36.84%), HCT 24.2 %, HGB 8.9 g/dL
 好中球の左方移動あり、重度中毒性変化
 中程度非再生性貧血

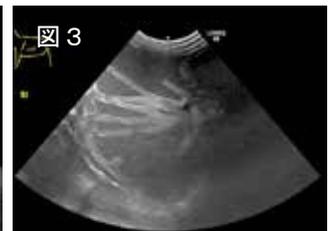
TP 7.2 g/dL, ALB 2.9 g/dL, CRP 23 mg/dL
 炎症性タンパクの著増と低アルブミン

●腹部X線検査所見



腹部右ラテラル像
 腹部の大部分を占拠する
 不透過性の高い管状の構造物を認める(黄色矢頭)

●腹部超音波検査所見

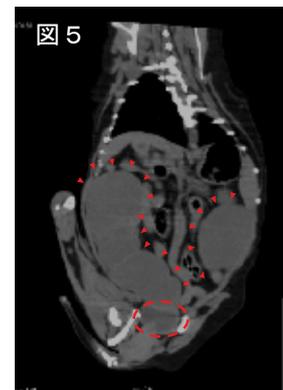
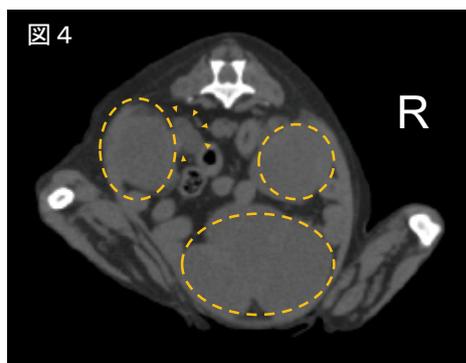


下腹部に膀胱とは異なる比較的高エコーの液体が貯留した構造物を確認、内側に柱状の構造物を認める

●CT検査所見

腹部横断面像（図4）では左右に子宮と思われる液体貯留した構造物を認める（黄色破線内）さらにそれらの内側に卵巣と考えられる構造物（黄色矢頭）が認められる。

腹部矢状断面像（図5）では拡張した左右の子宮角（赤矢頭）が認められ、尾側方向には膀胱（赤破線）が認められる。



●診断

子宮蓄膿症

●ノート

本症例は通常なら誰しもが臨床症状や検査結果から子宮蓄膿症に辿りついたはずである。しかし、様々な因子が重なり、惑わされることで治療は複雑な経過を辿った。本症例は飼い主に迎えられた直後に臍ヘルニアの手術をうけており、その際同時に子宮卵巣摘出術を行うことを提示され、飼い主は希望した。ヒト医療では、患者が手術室に入室し手術開始前に必ず執刀医、麻酔科医、看護師が全員手を止めて、患者名・病名・術式・手術部位・患者情報（アレルギーの有無など）について一斉に確認する“タイムアウト”が行われる。これにより、患者や手術部位を取違うリスクを低減することができる。獣医療においては、場合によっては獣医師が単独で手術を行うことも多く、このような閉鎖空間の中では他人と確認し合うダブルチェックが行われ難い。しかし、もし本症例で、タイムアウトが行われていれば、補助に入っていた動物看護師などが獣医師に指摘し、予定通りに子宮卵巣摘出術も行われた可能性がある。もし、予定通りに行われていれば、あくまでも仮定ではあるが、乳腺腫瘍の手術を受ける必要はなかったであろうし、少なくとも本学での子宮蓄膿症の手術は必要なかったであろう。獣医師はヒト医療に比べ自らが全てを行う必要があるため、個人の負担が大きくミスが生じる可能性は比較的高い。本症例は幸いにも手術に耐え、回復して退院したが、麻酔および手術には常に命に関わるリスクが伴い、また患者にかかる身体的負担や飼い主への経済的負担は軽視できない。

また、本症例では一度元気食欲の消失で治療を受けており、その際に腹腔内に“構造物”を超音波で確認している。この時の経緯を知る術はないが、飼い主が“避妊ずみ”と獣医師に伝えたため、症状と検査結果から最も疑われる子宮蓄膿症を除外してしまっただと考えられる。さらに、その後同じ病院で乳腺腫瘍の切除を行なっており、その時にも引き続きその“構造物”を認識している。そもそも避妊手術を1歳前に受けた場合に乳腺腫瘍になる確率は1%以下であり、極めてその可能性は低い。そのことを考慮し、飼い主に確認すれば乳腺腫瘍の切除の際に同時に子宮卵巣を摘出できたかもしれない。ヒト医療者の間では“患者は必ず嘘をつく”という格言があり、ある調査では医師に嘘をついた経験があるという患者は30%程度と報告されている。特に獣医師は患者と直接コミュニケーションをとることができないため、飼い主が自らに都合の良いストーリーを作り上げている可能性に留意しなければならない。当院に紹介された際も、避妊メスであることから問診で最初はGISTなどの腫瘍性疾患が疑われた。腹腔内において液体貯留する構造物には、胃拡張、腸閉塞による通過障害、胆嚢、肝腫瘍、脾臓腫瘍、卵巣嚢胞、腎嚢胞、子宮疾患、膀胱アトニーなどが考えられる。その多くは液体貯留により拡張すると被膜が薄く平滑に引き伸ばされる。（図は重度に拡張した胆嚢）



しかし子宮は平滑筋構造を持つため、ある程度の液体貯留であれば、区画ごと別れるような数珠状に拡張するよう見えたり、本症例のように内部に皺を認めるような場合がある。本症例でも子宮内の液体貯留を疑い、血液検査の結果からも、子宮蓄膿症を疑った。飼い主に診断を伝えたところ、飼い主は間違いなく避妊手術を受けたと主張したため、最初に手術を行なった病院に確認したが、詳細は不明とのことであった。このため、無麻酔下で保定し、CT撮影を行なった結果、拡張した子宮と卵巣を確認したため、速やかに麻酔導入し子宮卵巣摘出を行なった。

本症例については、獣医師が施術を忘れたのか、飼い主の記憶違いかは不明であるが、若齢時に避妊手術が行われなかったことにより、不必要な通院、治療そして手術が繰り返された。この一連の治療経過において、発情が続くことや、乳腺腫瘍の発生など、獣医師が“違和感”を持ち確認することで早期に治療できた可能性があった。このようなことは、自らを含め誰にでも起こりうることであり、日々の忙しさのなかで、受け流している違和感がときに重大な意味を持つことを本症例を担当したことで再認識し、自らにとっても今後の戒めとしたい。

盲腸拡張と捻転を呈した黒毛和種子牛の1例

● 患畜情報

- 動物種：牛
- 品種：黒毛和種
- 性別：雄
- 体重：115kg
- 年齢：4ヶ月齢

● 主訴：

- 3～4日前から両腹囲膨隆（図1）
- 排便少量

● 各種検査所見（第1病日）

- 一般所見：体温 38.8℃、心拍数 92 回/分、呼吸数 20 回/分.
- 超音波検査所見：小腸領域に腸管の拡張なし、盲腸内容物の貯留確認.
- 血液検査所見：脱水（Hct値：46.1%）

● 治療

- 試験的開腹手術により盲腸および結腸拡張に加え、さらに盲腸捻転を確認したことから、盲・結腸を切開し内容物の排出および捻転整復を実施した.



図1.左右両腹囲膨隆

【麻酔管理・術式】

- 吸入麻酔：2%キシラジンによる鎮静後、1%プロポフォールによる麻酔導入。気管挿管後、麻酔器の呼吸回路に接続。イソフルランと純酸素を吸入させ、陽圧換気による人工呼吸を実施。
- 開腹手術：右傍正中切開により開腹し拡張した結腸を露出（図2）。結腸を穿刺および切開し、貯留ガスと内容物を排出した。生理食塩水で腸管内を洗浄した。腸管縫合は粘膜-粘膜、漿膜-漿膜をそれぞれ連続縫合後、クッシング縫合を実施した。さらに腹腔内を探索し、盲腸捻転（図3）と拡張した盲腸（図4）を確認し、捻転整復後に拡張した盲腸を切開し内容物を排出し、洗浄した（図5）。結腸と同様に腸管縫合後、腹腔内を抗菌薬添加生理食塩水で洗浄し定法にて閉腹した。



図2. 拡張した結腸

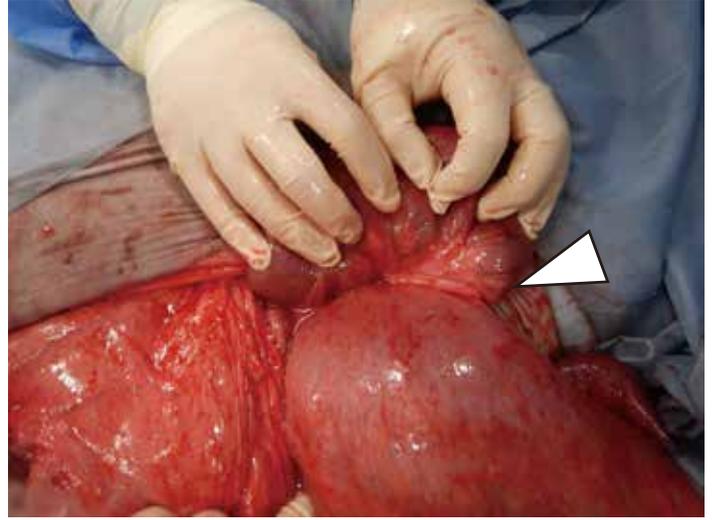


図3. 盲腸の捻転部位 (矢頭：絞扼部)



図4. 異常に膨隆した盲腸



図5. 盲腸切開後の内容物の排出

【術後経過】術後管理：栄養剤の持続点滴と抗菌薬投与を実施した。3日間の絶食後、徐々に給餌量を増やした。第8病日に血液検査（異常所見なし）を実施し、第10病日に抜糸し退院した。

【まとめ】盲腸拡張症は配合飼料の多給などによって盲腸内で揮発性脂肪酸が過剰に産生されて盲腸が拡張する消化器病であり、盲腸捻転に移行する例もある（獣医内科学 第2版）。腸捻転などの閉塞性腸疾患は発見が遅れると腸管壁の壊死や穿孔が起こり、その結果腹膜炎が継発し、予後不良になる可能性が高まる。本症例では盲腸捻転を認めたが、腸管壁は壊死に至らない比較的早い段階で発見されたことが示唆された。このことは、術前に実施した超音波検査と血液検査結果からも裏付けられた。本症例のように重度の脱水や起立不能などの重篤な症状を伴う閉塞性腸疾患に対しては、早期の試験的開腹も治療の選択肢の1つとして検討する必要があると思われる。

担当医：北里大学 大動物診療センター 佐藤 将伍

お山歩日記（第15回）

西北支部 角 田 裕 美

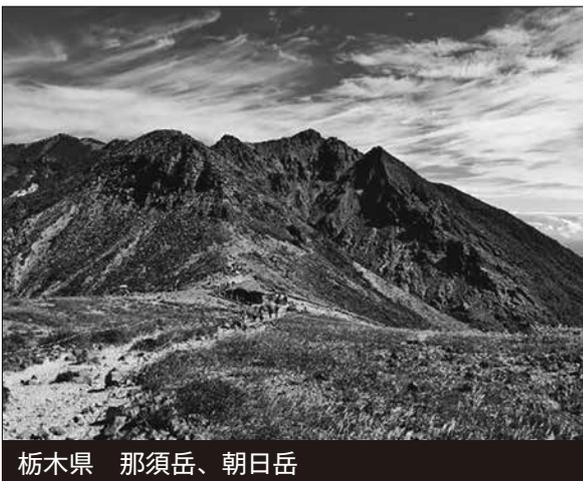
「山の日記、読ませてもらったよ〜。」と県獣医師会員から声を掛けられることが多くなりました。こうして皆さんに声を掛けていただくと、登山をしていて良かったな、と思います。

今回は、「登山を始めて変わったこと」について書いてみます。良かったことはもちろんですが、想定外の変化もあったりして。

1 健康になった

ダイエット目的で始めた登山。体重はほとんど減りませんでしたが、体が丈夫になりました。冬でも風邪をひかなくなり、35℃台だった平熱が36℃台になり、基礎代謝が上がったようです。これは登山のせいかわかりませんが、新型コロナワクチン接種4回とも副反応が出ませんでした。

登山で長時間歩くことによって、血流が良くなり、肩こりや腰痛が起きなくなりました。登山を続けるために、山に行かない日はジョギングやサイクリングをしたり、体力づくりの習慣が身に着いたことも大きな収穫でした。



栃木県 那須岳、朝日岳

2 疲れにくくなった

登山をしていなかった頃、休日は疲れをとるため

に寝て過ごすことが多かったのですが、今は登山に行ってもわざわざ疲れることをしているのに、疲れなくなりました。登山によって下半身の大きな筋肉が鍛えられるのと、心肺機能の向上により疲れにくくなったのだと思います。

また、多少の運動では筋肉痛にならなくなりました。年数をかけて少しずつ登山する距離を伸ばしているのですが、今では25km、7～8時間歩いた日の翌日でも、また登山に行けるようになりました。体力と持久力がつくと長距離の縦走や、厳冬期の登山など難易度の高いコースに挑戦できるようになり、ますます登山が面白くなりました。

3 食いしん坊になった

登山はとにかく消費カロリーの多い運動です。暇さえあれば毎週行っている八甲田大岳周回コースを5kgの荷物を背負って4時間登山すると、1,625kcalも消費するようです。これって40代女性の1日分に近いエネルギー量に相当します。そうなるとう揚げ物やケーキも食べてオッケー♪となり、つつい食べすぎてしまいます。それに、登山して帰ってくると、水とご飯がものすごく美味しく感じるので、食いしん坊になってしまいました。



磐梯山の下山後はソースカツ丼



下山後のご当地ソフトが楽しみ



モンベルのインナー おすすめ！

4 休日に家にいられなくなった

天気の良い休日は必ずといっていいほど山にいます。早朝に出発して、早い時には昼には下山。外食して温泉に行っても夕方、まだ夜何かする時間が残っている。充実した休日を送ることができます。逆に天気が悪くて家にいる休日は、何をして過ごせばいいのか分からなくなっていました。登山を始めてから人ごみが嫌いになってしまったので、休日に混雑する街中やショッピングセンターには行きたいとは思わなくなり、結局外でジョギングしています。

5 普段着も山スタイルになった

登山用の服って、夏物は速乾性で、冬物は防寒性能に優れていて、なおかつ動きやすい。特にモンベルのインナーは高機能かつ着心地が良く、普段着のローテーション入りをしています。出掛けるときもフリースと山ズボンという登山の恰好なので、家族に呆れられています。

着るもの以外でも、腕時計が女性用の小さくてカワイイものから、気圧や高度表示機能が付いたごっついプロトレックに変わったり、車も山に行くため車中泊ができるようミニバンを買ったりと、山に関係するものばかりとなりました。



プロトレックとGPS

6 災害対策にも有用

単独行で登山していると、何かあったらすべて自分で対処することになるので、行動が慎重になります。下山遅れに備えてヘッドライト、非常食、ライター、マルチツール、携帯トイレを持ち歩いています。これらのグッズは災害のときにも役立つので、もし災害で避難する場合は、いつもの山ザックだけ持って逃げればいいのかと思っています。

7 謙虚さや周囲への感謝を持た

山頂に登って、街では見ることができない特別な景色を眺めて、淹れたてのコーヒーを飲む。味わったことのない人には分からないかもしれませんが、とっても豊かな時間です。



ヘッドライトとマルチツール



行動食は家に常備

こうして山に登れるのは、周囲の人達のおかげと思えるようになり、無事に登らせてくれた山に対しても、感謝の気持ちを持てるようになりました。

また、登山で衣食住が簡単に手に入らない環境に置かれると、蛇口をひねれば自由に水を使え、スイッチ一つで電気が付き、ゆっくり布団で眠れる生活のありがたみを実感できます。

8 おわりに

登山は遭難のリスクがあるとか、用具を揃えるのにお金がかかるなどデメリットもありますが、私にとってはメリットばかりでした。年をとっても体力が続く限り、継続していきたいです。登山に限りませんが、夢中になれる趣味を持つことはいいことだなと思います。

最後に、私的登山あるあるをご紹介します。1つでも共感した方、すでに登山という沼にハマってます。

・エレベーターがあるのに、トレーニングだと思っ

て階段を使う。

- ・岩場や鎖場は怖いというより、むしろ楽しい。
- ・混んでいる山は嫌、でもあまりに登山者がいないのも寂しいし、不安。
- ・山行の前夜、「早く寝なきゃ」と思っていると眠れない。
- ・3時起床は当たり前、9時はもう昼、16時は寝る支度。
- ・苦勞して頂上にたどり着いたのに、寒いから写真だけ撮ってさっさと下山。
- ・シャリバテ（栄養不足）に気を付けた結果、行動食を食べ過ぎる。
- ・日常でも行動食がないと不安。職場の机の中に食料を備蓄。
- ・パソコンの写真フォルダを開くと山の写真しかない。
- ・カップラーメンの汁を捨てられないから全部飲む。さらにお湯を入れてクッカーを共洗いして全部飲む。
- ・下山後、山で飲んだペットボトルが気圧の差で凹み、ザックからベコって音が鳴ってビビる。
- ・プレゼントに何ほしい？と聞かれ、山専ボトル！と答える。



恐山と字曾利湖

「radiko」ご存知ですか？

下北支部 松本 敦

1 はじめに

「radiko（ラジコ）」とは、スマートフォンのアプリやパソコンでラジオが聴けるサービスです。無料で使える機能としては、現在放送している番組を聞くことができるライブ機能と、過去7日以内に放送された番組を再生し始めてから24時間以内であれば、合計3時間まで聞くことができるタイムフリー機能があります。青森県では、RAB青森放送とFM青森などの番組を無料で聴くことができます。また月額385円（税込み）でラジコプレミアムに登録すると、国内のどの地域からでも日本全国のラジオ番組を聴くことができます。

私は、辛坊治郎さんのファンでニッポン放送の「辛坊治郎 ズームそこまで言うか！」をぜひ聴きたいと思い、2020年11月から月額385円のプレミアム会員となっています。全国のラジオ局の色々な番組を聴けますが、主としてニッポン放送の番組を聴いています。

2 お気に入りの番組

私が特にお気に入りのニッポン放送の番組を3つ紹介します。

(1) 辛坊治郎 ズームそこまで言うか！

放送時間：月曜～木曜 15：30～17：30

辛坊治郎さんが政治・経済・文化・社会・芸能まで、きょう一日のニュースの中から独自の視点でズームし、一番気になる話題を忖度なく語るニュース解説番組です。お笑い芸人がニュース解説をしている感じがあり、またアシスタントの増山さやかさん（ニッポン放送アナウンサー）は、どちらかといえば天然系の方で、辛坊さんとのやり取りがおもしろく、毎回楽しみにしています。特に木曜日は、ものまねが得意な飯田浩司アナウンサーがお手伝いと

して加わり、政治家のものまねを交えての辛坊さんとのやり取りには一聴の価値があります。ちなみに飯田アナウンサーのレパトリーは、岸田首相、麻生副総裁、山口公明党委員長、辛坊治郎などがあり、安倍元首相は特にクオリティが高かったですが、不幸な形で亡くなられたので封印しているようです。

辛坊さんは、2021年4月9日からヨットで太平洋単独横断に出発し、6月16日（日本時間）にアメリカ・サンディエゴに到着し、同年8月24日に無事日本への帰還を果たしました。この間、日替わりパーソナリティで番組は続けられ、辛坊さんはニッポン放送から支給された衛星携帯電話で、「生存確認テレフォン」という5分程度の番組の1コーナーに出演していました。辛坊さんの航海をレーダーの会社であるFURUNO（古野電気）がサポートし、インターネットに公開されたリアルタイムのヨットの位置と、「Windy」というスマホアプリで風の状況を逐次確認していました。日本を出港して数日後に、台風くずれの低気圧が、辛坊さんの航路上で非常に発達し、「Windy」での風速情報は最大表示で、この時は「辛坊さんが死んでしまう！」と真剣に思いました。私の心配をよそに、辛坊さんが「生存確認テレフォン」に出演した時は、本当にほっとしました。

辛坊さんは、その後太平洋往復横断記「風のことは風に問え」を出版され、当然私は買って読み、「生存確認テレフォン」で話していなかった身の危険を感じたことが何回もあり、よく無事で戻ってこられたなと思いました。

(2) 上柳昌彦 あさぼらけ

放送時間：月曜 5：00～6：00

火曜～金曜 4：30～6：00

(火曜～金曜 4：30～5：00全国33局ネット)

「あさぼらけ」とは、夜のほのぼのとあけるころ、という意味で、「あけぼの」より少し明るくなったころを言うそうです。

上柳さんは、ニッポン放送のアナウンサーを定年後、フリーアナウンサーとしてニッポン放送を中心に活躍しています。

毎週木曜日の5時20分ごろに「観音温泉るんるんタイム」という番組が2020年10月1日から放送されています。観音温泉は、静岡県下田市の人里離れた奥下田にひっそり佇んでいる温泉で、この温泉は源泉かけ流し、泉質はpH9.5の超軟水でとろみのあるのが特徴です。このコーナーでは、女将の鈴木和江会長に観音温泉の創業当時の苦労話、施設やお湯の魅力、未来の展望などを伺っています。当初は3か月限定の週1回の女将とのインタビューの予定でしたが、今では3年続く毎週木曜日の名物コーナーとなっています。

2022年4月28日の放送で、女将は1日に3組、多い日は5組くらい、リスナーの方がお見えになり、リスナー同士で仲良くなっていると話していました。観音温泉の売店脇に、「あさぼらけ」リスナーが自由に記入できるように縁（えにし）ノートを置いてもらうことになったそうです。

観音温泉は、「あさぼらけ」リスナーの聖地のような存在となっており、いつかは行ってみたいと思っていました。

いつかは行ってみたいと思っていた観音温泉、たまたま2024年2月12日に横浜市で親戚の結婚式があったので、次の日の13日に念願がかなって家内と一緒に観音温泉に行ってきました。

東京駅から伊豆急下田駅までは、JR東日本のサフィール踊り子に乗りました。サフィール踊り子は、東京～伊豆間の特別な旅の友となるプレミアム

な列車で、チケットが取りにくいことで有名です。乗車1か月前の発売開始直後に、インターネットで予約できるJR東日本の「えきねっと」を利用して指定券をゲットしました。なお、指定券は発売開始後10分で売り切れてしまいました。

伊豆急下田駅からは、約13kmの道のりを送迎マイクロバスに乗り、観音温泉に向かいました。最後の3kmは、何か所か待避所があるものの、車1台がやっと通れるほどの狭いのぼり坂が続き、20分程度で観音温泉に到着しました。ちなみに大型バスで来るお客さんは、幹線道路沿いにある観音温泉レストハウスの駐車場から、マイクロバスでピストン輸送するそうです。



狭いのぼり坂



観音温泉の出入り口



あさぼらけコーナー

観音温泉の中に入ると、縁（えにし）ノートが置かれたスペースがあり、私も早速記入しました。その周りには、「あさぼらけ」に関する記事や上柳さんと女将との対談の様子などの資料がありました。我々のチェックインを担当してくれた方に、今日の女将について尋ねると、夜に東京に行くことになっているが、たぶん夕食には皆様へあいさつに行くと思います、という返答があり、夕食の時間が待ち遠しくなりました。

待ちに待った夕食です。それぞれのテーブルを回って談笑する女将が見えました。徐々に女将が近づいてきて、我々のテーブルに来ました。女将の第一印象は、あたりまえのことですが、ラジオと同じ声だなと思いました。一緒に写真を撮ってもらい、「あさぼらけ」リスナーのお客さんが我々以外に2組いることを教えてもらったことから、折角の機会なので一緒に写真を撮影しました。

ちなみに、今回のことを番組へメールしたところ、2024年3月28日の放送で紹介してもらいました。

久しぶりにミーハーなことができて、楽しい時間を過ごすことができました。青森からは簡単に行ける場所ではありませんが、静岡県伊豆半島に観音温泉があることを知ってもらえれば、うれしい限りです。



3組のあさぼらけリスナーと鈴木女将

(3) 春風亭一之輔 あなたとハッピー！

放送時間：金曜 8：00～11：00

一之輔師匠は、「最もチケットの取れない噺家」のひとりとして、先輩噺家21人抜きで真打に昇進した落語家です。私は「春風亭一之輔 あなたとハッピー！」を聴いていたため、2023年2月5日に笑点大喜利にレギュラー出演する前から、一之輔師匠の名前を知っていました。

アシスタントは、「辛坊治郎 ズームそこまで言うか!」と同じ増山さやかアナウンサーで、一之輔師匠の毒舌と増山アナの天然がマッチして、毎週楽しみにしています。2021年9月24日の放送では、ネット記事に取り上げられたむつ市のふるさと納税返礼品の「ホタテ水着 上下セット」を話題にしてくれました。



ホタテ水着 上下セット

この番組で私の一番のお気に入り、「有楽町ミュージックホール」で、一之輔師匠は支配人としてニッポン放送に眠る貴重なライブ音源を蔵出しするコーナーです。これまでに取り上げられたミュージシャンは、山下達郎、あみん、加山雄三、ユーミン、オフコースなど、1980～2000年当時に活躍した方の歌2曲とそのころの時代背景を話してくれるので、懐かしい気持ちになります。

ちなみに一之輔師匠は、2023年3月19日に青森市民ホールで落語を披露しましたが、私は笑点のレギュラーとなる前にチケットを購入しており、それは私のプチ自慢です。笑点出演決定前まではチケットは残っていたようですが、笑点出演が決まったとたん、すぐに売れ切れてしまいました。2024年3月24日には、一之輔師匠と林家たい平師匠が青森市民センターで二人会を開催し、この時は、前年12月8日にチケットが発売となりましたが、ローソンチケットではその日のうちに売り切れてしまいました。

そのほか次の番組を好んで聴いています。

◎ニッポン放送

・飯田浩司のOK！ Cozy up！

月曜～金曜 6：00～8：00

・徳光和夫 とくもり歌謡サタデー

土曜 5：00～7：40

・八木亜希子 LOVE & MELODY

土曜 8：30～11：00

・イルカのミュージックハーモニー

日曜 7：00～8：30

◎TBSラジオ

・爆笑問題の日曜サンデー

日曜 13：00～17：00

「あさぼらけ」の上柳アナウンサーは、常に「地域のラジオを大切に」と言われており、RAB青森放送の番組では、次の番組が好みです。

・らじ丸にっち!

日曜 12：00～15：00

パーソナリティは夏目浩光アナウンサーで、週替わりの若手アナウンサーとのやり取りがおもしろいです。

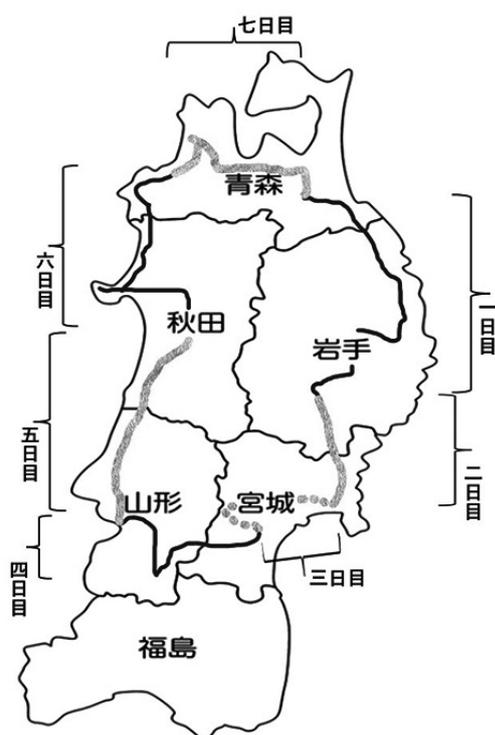
ラジオは、ほかのことをしながら聴くことができるメディアです。まずは、「radiko」でRAB青森放送やFM青森の番組を無料で聴いてみることをお勧めします。



国内旅行 一手始めに東北へー (3)

上十三支部 中 島 聡

ある読者の方から、「移動経路を図示したほうがイメージが湧きやすい。是非地図で例示して欲しい」との、ご意見をいただいたので地図でおおまかに示します。今までの原稿では本会報194号の(1)で十和田市発田野畑村、龍泉洞、遠野、に立ち寄り平泉に宿泊した一日目と平泉、松島をまわった二日目分を、198号の(2)で山寺、天童、秋保温泉をまわった三日目と米沢上杉神社、出羽三山を訪れて湯野浜温泉に宿泊した四日目について記載してきました。



さて、今回(3)では加茂水族館、象潟、角館と五日目のコースに沿って北上しました。

湯野浜温泉から近い! あっという間に加茂水族館に到着しました。すぐそばに水産高校がある。水族館なので魚類がたくさんいますが、やはりメインはクラゲ館です。

2008年にノーベル賞を受賞した下村ポストン大学名誉教授がオワンクラゲから緑色蛍光タンパク質を分離し、生きた細胞内で発現しているタンパク質を蛍光顕微鏡で観察する道を切り開いた事から有名になりました。

入館するとウミガメも愛想良く片手をあげて歓迎の挨拶。館内にクラゲのお勉強コースが充実し、いきいきと工夫されていました。

静かに観察したいのに、変なおちゃんが、後ろからつきまとって説明したがる。ボランティアなんだろうが、ストーカー状態でした。

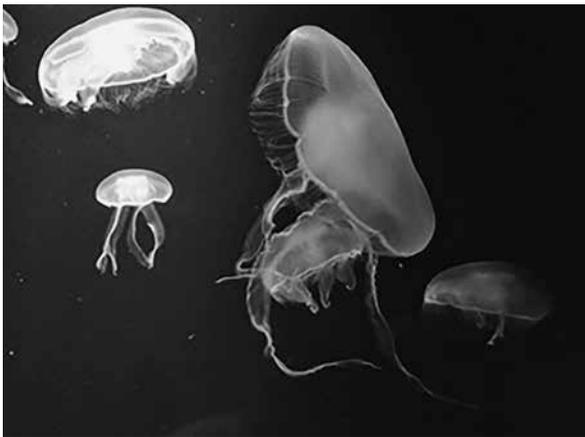


挨拶する? ウミガメ

6月5日

3時間位 1時間 13時 30分 1時間 16時位
鶴岡市立加茂水族館 → 象潟 → にしめ道の駅(昼食) → 角館 武家屋敷
0235-33-3036 今泉字大久保657-1

宿泊 角館温泉花菜館 0187-55-5888 (夕朝付)
仙北市角館町西長野古米沢30-19



クラゲの栽培センター

照明の当て方も工夫されていて、自然界の水中でも光っているかのような気になります。大変見応えがあり、満喫しました。

一方、ピラニヤなど他の魚類は押しやられて生存密度が高めかも知れませんでした。

食堂では、クラゲのアイスクリームも売られており、一時期大発生が話題となったエチゼンクラゲなどもこのような利用のされ方もあったのかなと思いました。そう言えば、北海道の回転寿司屋でクラゲ

を食べたことがありましたが、コリコリして面白かった事も頭をよぎりました。



密集気味のピラニヤ

水族館をととても満喫しました。

次に、陸の松島といわれる象潟に向かいましたが、途中山形県養豚試験場の看板がありました。若き日、ここに来て豚に凍結精液で人工授精をした事を思い出しました。

海岸線を縫う道路を抜け、道の駅鳥海で昼食をいただきました。駐車場も広く、パン屋さんを始め食堂がけっこうありました。

更に、車を進め「道の駅象潟」へ向かいました。どうも象潟の配置や見所がわからずグルグルとまわりました。寺の境内に入っても、道の駅の展望台に昇っても良かったみたいでした。

山歩きの蓄積で一步が出なかったため、道の駅の2階からの日本海に沈む夕陽が見られず、少し残念でした。



陸の松島 象潟

それでも、鳥海山をバックにその趣の一面は感じ取れました。春の水を張った苗植え時や秋の稲穂が垂れる金色に染まった時期がおすすめらしいです。時間的に厳しいので、速やかに角館に向かいました。



角館 旧武家屋敷

旧武家屋敷跡。ここも、枝垂れ桜の時期や雪の時期が良いそうです。人力車に乗った和装の花嫁衣装の女性の写真がポスターになっていて、とても写真映えしていました。



モニュメントツリーのような巨大な縦ノ木に囲まれるように黒塀の連なりが並んで保存されていました。

観光客に開放している石黒家には解体新書の原本(?)がありました。もう一軒、民間で保存している青柳家以外の六軒は市が管理しているということで、勤務時間外になってしまい見学は、できませんでした。

宿泊の花葉館は、12畳の広い部屋。新しいけれど昔の青年の家的な建物を業務委託した感じで、前日までの旅館感がありませんでした。公民館的というかスーパー銭湯とかの雰囲気が強かったのですが。9時以降は外部の利用者が居なくなり、宿泊者だけの貸切状態になりました。透明で適温のナトリウムアルカリ泉でゆったりと旅の疲れを取り、熟睡。今回の旅行で初めて本格的な雨が夜中に降っていましたが、朝までには止んでくれて、天候には恵まれていました。

夕食は和食のコース。突き出しから始まり、刺身、焼き物、天ぷら、茶碗蒸しなどが次から次へと出てくるスタイル、最後の方にご飯とお吸い物が出てきました。従業員が足りていなくて配膳に手が回らない感じで、ちょっともどかしい感じがしました。朝食は、なんとバイキング。スタイル的には夕食と同じだと思っていたので意外でした。

さて、六日目は日本海側を北上して青森県に戻ってきます。(つづく)

6月6日

1時間	3時間	1時間	14時 30分	2時間
角館→あきた港、ことおか、小坂ながたき	秋田県立美術館	→ 男鹿市 (昼食)	→ 八郎潟	
→ 鱒ヶ沢				
018-853-8686	海鮮なまはげ井	なまはげ御殿		
秋田市中通1丁目4-2	北浦入道崎昆布浦2-69			
	0185-38-2011			
	宿泊	鱒ヶ沢温泉水軍の宿	0173-72-8112 (夕朝付)	
		大字舞戸町字下富田26-1		

〔新入職員紹介〕

青森県農林水産部の新入職員を紹介します



○ 武井 裕佳 (たけい ゆか) 上十三支部獣医師会

昨年度より上北地域県民局地域農林水産部中央家畜保健衛生所に配属となりました武井裕佳です。

出身は群馬県高崎市で、北里大学を卒業し、十和田食肉衛生検査所に2年勤務した後家保への配属になりました。現在は十和田市に母とかわいい猫3匹と住んでいます。

写真は、昨年度青森テレビで放映された「みんなの県庁」の1シーンです。まだ慣れない採血を手馴れているように撮影したり、ひたすら顕微鏡をのぞいているシーンを5分近く撮影したり、たった5分の放送でこれだけ大変なのだなと思いました。何より、誰にも伝えていなかったのに「テレビ出てたね!」という人から連絡が来たことが驚きでした。

青森県の獣医師として色々なことを学んでいきたいと思っていますので、これからよろしくお願いたします。



○ 西村 湧美 (にしむら ゆう) 青森県畜産課

今年度から青森県農林水産部畜産課衛生・安全グループに配属となりました、西村湧美と申します。

出身は青森県で、弘前大学大学院を修了し、この度新採用職員として働かせていただくことになりました。大学ではニワトリの味覚感知メカニズム及び食行動について研究していました。

現在は、家畜保健衛生所における県公務員獣医師の定着化と検査技術向上を目指し、家畜衛生講習会等の調整に日夜奮闘しています。また、今まで三大ねぶた祭のうち青森だけは見たことがなかったので、今年の夏こそは体験したいと考えています。

わからないところだらけですが、家畜衛生に従事される獣医師をはじめとした、職員の方々をサポートできるよう頑張っていきますので、これからどうぞよろしくお願いたします。

〔お知らせ〕

青森県獣医師会長杯ゴルフコンペ2024開催

青森支部 沼宮内 春雄

ゴルフ愛好の皆様、コロナも五類になりそれぞれプレーを楽しんでいることと思います。さて、久しぶりに青森県獣医師会長杯のコンペを来る9月22日(日・秋分の日)、十和田湖高原GC(旧八甲田ビューCC)で開催することにしました。今夏も暑さが厳しいようですが、高原の秋空のもとでのゴルフコンペに多くの会員、その家族・友人の参加を歓迎します。参加者には優勝カップ・ドラコン賞・ニアピン賞等を用意しております。

申込先 成田動物病院 成田憲雄院長 090-1064-8909

◎会員の動向

(1) 会員数（正会員） (人)

令和5 年度末	令和6年度		令和6年 6月17日 現在
	入会	退会	
397	6	7	396

(2) 支部別正会員数 (人)

青森	弘前	三八	西北	上十三	下北	計
59	28	111	23	154	21	396
6	1	3	1	8	2	21

(下段は名誉会員数で内数)

【新入会員】

支部	氏名	所属（勤務先等）
弘前	佐藤 理洋	ヨッシー動物病院弘前
三八	小西香菜子	やすだ動物病院
	千葉 明	八戸動物病院
上十三	武井 裕佳	中央家畜保健衛生所
下北	塚本 愛美	下北地域県民局地域福祉
	納堂健太郎	部保健総室（むつ保健所）

【退会会員】

支部	氏名	所属（勤務先等）
青森	曾根あかり	青森県動物愛護センター
	佐藤 宏樹	青森家畜保健衛生所
三八	石井 敦子	八戸市保健所
	千葉紀容子	八戸動物病院
上十三	有山 賢一	家畜改良センター奥羽牧場
	佐藤 郷子	青森家畜保健衛生所
	上野 俊治	北里大学獣医学部

(3) 賛助会員

会員数	1
名称	株式会社クレディセゾン

◎事務日誌

1 事務関係

(1) 決算監査

期日：令和6年5月10日（金）
 場所：青森市 青森県獣医師会館
 出席：監事、会長、センター所長
 事務局長、事務局

(2) 第1回理事会

期日：令和6年5月24日（金）
 場所：青森市 青森県獣医師会館
 内容：令和5年度事業実績及び計算書類等承認、第76回定時総会開催、その他
 参集：会長ほか役員、事務局長、事務局

(3) 第2回理事会

期日：令和6年6月13日（木）：総会前
 場所：青森市 アップルパレス青森
 内容：第76回定時総会提出資料について
 参集：会長ほか役員、事務局長、事務局

(4) 第76回定時総会

期日：令和6年6月13日（木）
 場所：青森市 アップルパレス青森
 内容：名誉会員称号記贈呈、令和5年度事業実績及び計算書類等承認、令和6年度事業計画及び収支予算書報告、名誉会員推薦、会費額・徴収方法、役員選任等
 参集：会員、役員、事務局長、事務局

(5) 第3回理事会

期日：令和6年6月13日（木）：総会終了後
 場所：青森市 アップルパレス青森
 内容：新役員紹介
 参集：役員、事務局

2 食鳥検査事業関係

(1) 新採用者辞令交付式

期日：令和6年4月1日（月）
 場所：十和田市 食鳥検査センター
 参集：新採用職員2名、会長、事務局長ほか

(2) 第1回特定事業運営委員会

期日：令和6年5月20日（月）
 場所：青森市 青森県獣医師会館
 内容：新委員への委嘱状交付、令和5年度事業実績及び収支決算、センターの状況等
 参集：委員7名、所長、次長、事務局長ほか

(3) 令和6年度主任検査員会議

期日：令和6年5月29日（水）
 場所：十和田市 食鳥検査センター
 内容：各処理場・検査室における現状と課題、事務局からの連絡事項等
 参集：主任検査員8名、所長、次長、検査室長、事務局長、事務局次長

(4) 令和6年度全国食鳥指定検査機関協議会総会

期日：令和6年6月6日（木）
 場所：東京都 松本楼
 内容：令和5年度事業実績及び収支決算、令和6年度事業計画及び収支予算ほか
 参集：会長、所長、事務局長

3 部会開催関係

(1) 会報部会

期日：令和6年5月27日（月）、6月17日（月）
場所：青森市 青森県獣医師会館
内容：令和6年7月発行・第199号会報編集
出席：会報部会委員、事務局

4 東北獣医師会連合会関係

(1) 令和6年度東北獣医師会事務局長会議

期日：令和6年4月8日（月）
場所：青森市 青森県獣医師会館
参集：東北各県、仙台市獣医師会事務局長ほか
内容：令和6年度東北獣医師大会・獣医学術三学会の開催について
出席：会長、事務局長、事務局次長、事務局

(2) 令和6年度東北獣医師会連合会理事会・代議員会

期日：令和6年4月9日（火）
場所：青森市 ホテル青森
参集：東北各県・仙台市獣医師会理事、代議員
内容：令和5年度事業報告並びに収支決算、令和6年度事業計画並びに収支予算（案）、会費の額、東北獣医師大会並びに獣医学術三学会開催、役員改選について
出席：会長、副会長、事務局長、事務局次長、事務局

(3) 令和6年度獣医学術東北地区学会幹事会

期日：令和6年4月26日（金）
場所：Web会議（ZOOM）
参集：各学会長、副学会長、幹事
内容：令和6年度獣医学術東北地区学会の進行
出席：事務局次長、事務局

5 日本獣医師会関係

(1) 第2回役員候補者推薦管理委員会

期日：令和6年5月8日（水）
場所：東京都港区 日本獣医師会館
参集：委員、日本獣医師会事務局長、事務局
出席：事務局長

(2) 令和6年度第1回理事会

期日：令和6年6月4日（火）
場所：東京都港区 日本獣医師会館
内容：令和5年度事業実績及び計算書類等第81回通常総会提出議案等
参集：藏内会長ほか役員、事務局
出席：会長

(3) 令和6年度第2回理事会

期日：令和6年6月26日（水）
場所：東京都 明治記念館
内容：第81回通常総会提出議案等
参集：藏内会長ほか役員、事務局長、事務局
出席：会長

(4) 第81回通常総会

期日：令和6年6月26日（水）
場所：東京都 明治記念館
内容：令和5年度事業実績及び計算書類等の承認、令和6年度事業計画及び収支予算（案）、役員改選・選任等
参集：藏内会長ほか役員、日獣事務局長ほか
出席：会長、副会長、事務局長

(5) 第3回理事会

期日：令和6年6月26日（水）
場所：東京都 明治記念館
内容：新役員等
参集：藏内会長ほか役員、日獣事務局
出席：会長

6 その他

(1) 第28回青森県獣医師連盟通常総会

期日：令和6年5月24日（金）
場所：青森市 青森県獣医師会館
出席：石澤委員長、連盟会員、事務局

(2) （一社）青森県畜産協会第1回理事会

期日：令和6年5月28日（火）
場所：青森市 アラスカ会館
出席：会長

(3) （一社）青森県畜産協会第20回定時総会

期日：令和6年6月20日（木）
場所：青森市 アラスカ会館
出席：会長

7 支部通常総会関係

(1) 弘前支部獣医師会総会

期日：令和6年4月29日（月・祝）
場所：弘前市 アートホテル弘前シティ

(2) 上十三支部獣医師会総会

期日：令和6年5月15日（水）
場所：十和田市 サン・ロイヤルとわだ

(3) 西北支部獣医師会総会

期日：令和6年5月17日（金）
場所：鯉ヶ沢町 ホテルグランメール山海荘

(4) 下北支部獣医師会総会

期日：令和6年5月21日（火）
場所：むつ市 プラザホテルむつ

(5) 青森支部獣医師会総会

期日：令和6年5月23日（木）
場所：青森市 恵比須屋

(6) （一社）青森県三八支部獣医師会総会

期日：令和6年5月24日（金）
場所：八戸市 八戸プラザホテル

○青森県獣医師会支部事務局及び担当者

支部	事務局住所	担当者	連絡先
青森	〒030-0813 青森市松原2-8-2 青森県獣医師会館内	しばた かちこ 柴田香智子	TEL 017-723-5106 FAX 017-723-5106 E-mail:aomorisibu.vet@cap.ocn.ne.jp
弘前	〒036-8086 弘前市大字田園3-3-24 ハイムNR105号室	なりた ゆきえ 成田幸恵	TEL 0172-27-7728 FAX 0172-27-7728 E-mail:hiroju-aomori@silver.plala.or.jp
三八	〒039-1166 八戸市根城6-22-22	チットウッド ともこ 登茂子	TEL 0178-43-2819 FAX 0178-47-8820 E-mail:vetaso38@jomon.ne.jp
西北	〒038-3151 つがる市木造若竹2-1 つがる広域家畜保健衛生所内	おおた あゆこ 太田亜夢子	TEL 0173-42-2276 (つがる広域家保) FAX 0173-42-6087 (つがる広域家保) E-mail:aomori-seihoku2017@outlook.jp
上十三	〒034-0093 十和田市西十二番町19-23	やなぎ さわくみこ 柳沢久美子	TEL 0176-22-5969 FAX 0176-24-3888 E-mail:kamitousanvet@yahoo.co.jp
下北	〒035-0076 むつ市旭町14-53	えさしか けいこ 江刺家敬子	TEL 080-3326-6858 FAX 0175-39-9939 E-mail:shimokita_vet@yahoo.co.jp

○入会・会員異動の手続きについて

本会では、随時、新会員を募集しています。
お気軽にご相談ください。

公益社団法人青森県獣医師会のホームページ (aomori-juuishikai.jp) から入会申込書をダウンロードして住居地もしくは勤務地の支部獣医師会にご提出ください。



〔編集後記〕

年明けからの気温の推移から、今年は去年よりも更に暑い日々が続くのでしょうか？その割には桜の開花などは平年よりは早いものの昨年よりも遅めで、気温の記録と生物（時計）の記憶は若干違うのかなという気がしています。

さて、西北支部の角田会員には今回で一区切りという事で、4年以上登山の話題を提供していただきありがとうございました。スマホやGPSの登場以来ハイテクになった登山は新しい視点での楽しみがあり、読者の中にはうなずきながらご覧になった方もおられたかと思います。

一方、登山のついでに、春は山菜の時期ですが山の木の実などの不作や、豊作時期に繁殖が活発になった熊との遭遇が多いという報道がされています。

温暖化に伴い、鹿、猪も北上していますし、また、高齢化や集落の過疎化に伴い、里山の管理が行き届かなくなり、市街地への熊の出没、目撃が増えてきており、事故の発生が懸念されます。

自然の生業に、ずかずかと踏み込みすぎた人間は、今後どのように振る舞えば良いのでしょうか。こんな視点からもOne Healthアプローチがヒントを与えてくれるのではないかと期待したり、いやいや、傲慢な人間は自分たちを中心に、ねじ曲げた解釈を自然や動物たちに押しつけようとしているだけかも知れません。とにかく、出会わないこと。もし、出会ったら穏便にお互いに安全な距離をとって無事に過ごしていきたいものです。他の分野でも結構です。是非、皆様からのご投稿をお願いいたします。
(A. N)

原 稿 募 集

令和6年10月1日発行予定の会報第200号の原稿を募集いたします。

会員各位の投稿のほか、各支部獣医師会だよりの原稿もお願いいたします。

原稿は、投稿規程を参照して作成し、次の方法で青森県獣医師会にお送りください。

締切り日は8月26日（月）です。期日までをお願いいたします。

〔原稿の提出方法〕

原稿は原則としてMicrosoft Wordで2段組み、23字×37行で作成し、ファイルは電子メールに添付して本会事務局に送信してください。なお、原稿ファイルがWord以外で作成された場合は、使用したソフトをお知らせください。

手書きの原稿や、大容量（20MB以上）の写真を含む原稿ファイルはCD-R等に記録し、本会事務局に郵送してください。

本会事務局住所：〒030-0813 青森市松原二丁目8の2

電子メールアドレス：ao-vet@smile.ocn.ne.jp



地球上で息づく
「いのち」を守り
人、動物、環境の
「One Health」を考える

特別史跡 青森県三内丸山遺跡

令和 東北地区獣医師大会 6年度 獣医学術東北地区学会

日本産業動物学会(東北地区)・日本小動物学会(東北地区)・日本獣医公衆衛生学会(東北地区)

大会 令和6年
9月24日(火) 13時～

市民公開特別講演(市民の方も聴講できます:無料)

14時30分～

「縄文人と動物たち」

三内丸山遺跡センター所長

岡田 康博 氏



学会 令和6年
9月25日(水) 9時～

場所 ホテル青森 青森市堤町 1-1-23



主催 公益社団法人 青森県獣医師会

共催 / 公益社団法人秋田県獣医師会、公益社団法人山形県獣医師会、公益社団法人福島県獣医師会
一般社団法人岩手県獣医師会、公益社団法人仙台市獣医師会、公益社団法人宮城県獣医師会
後援 / 農林水産省、環境省、厚生労働省、青森県、青森市(予定)
協賛 / 公益社団法人日本獣医師会

2024年度

北里大学 公開講座

いのちと環境を科学する
2024

第1回
7月18日(木)
十和田市民文化センター
生涯学習ホール
18:40~20:10

とわだ市民カレッジと共同開催
**アニサキス症：事件数が
わが国で一番多い食中毒** **特別講演**
国立感染症研究所 客員研究員 杉山 広

第2回
8月1日(木)
十和田市民文化センター
生涯学習ホール
18:30~20:00

とわだ市民カレッジと共同開催
**風景から読み解く十和田の自然と人の歴史
～地球と地域の環境変動～** **特別講演**
青森公立大学 経営経済学部地域みらい学科 教授 三浦 英樹

第3回
8月8日(木)
北里大学獣医学部
111教室
18:30~20:00

**ナノバブル技術に
ついて知ろう**
陸水循環学 准教授 眞家 永光

第4回
8月22日(木)
北里大学獣医学部
111教室
18:30~20:00

**動物園を科学する
～動物園と科学の世界の関係～**
動物行動学 講師 小倉 匡俊

第5回
8月29日(木)
北里大学獣医学部
111教室
18:30~20:00

**米飯に由来する食中毒と
微生物の知られざる舞台裏**
人獣共通感染症学 教授 胡 東良

第6回
9月5日(木)
北里大学獣医学部
111教室
18:30~20:00

**鳥の不思議を
解剖する**
獣医解剖学 助教 深沢 英恵

第7回
9月12日(木)
北里大学獣医学部
111教室
18:30~20:00

**動物の舌から探る
味覚の世界**
動物代謝機能学 講師 高橋 辰行

第8回
9月19日(木)
北里大学獣医学部
111教室
18:30~20:00

**十和田市における
自然と人との接点を計る**
里山環境学 准教授 柿野 亘



この講座は、あおもり
県民カレッジの単位と
して認められます。
単位数:16単位
学習分野:学術・教育

北里大学は北里柴三郎博士を学祖として仰ぎ、
北里精神は脈々と引き継がれています。



講座【全8講座】

期 間 令和6年7月18日(木)～9月19日(木)

会 場 北里大学獣医学部 111教室

●特別講演など一部、時間・場所が変わります。
(第1回講座・第2回講座 / 十和田市民文化センター 生涯学習ホール)

受講料 **無料**
事前の申し込みは必要ありません。
どなたでも気軽に受講できます。

全8講座の講師陣・講義内容・会場等の詳細については裏面を
ご覧ください。

お問い合わせ
北里大学公開講座実行委員会
(北里大学獣医学部内)
〒034-8628 十和田市東二十三番町35-1
電話 (0176)23-4371(代表)

主催 北里大学公開講座実行委員会

共催 北里大学獣医学部・十和田市教育委員会

2024年度 北里大学公開講座プログラム

いのちと環境を科学する2024

第1回 7月18日(木) 十和田市民文化センター 生涯学習ホール 18:40~20:10

開講式 18:30~18:40



アニサキス症：事件数が わが国で一番多い食中毒

国立感染症研究所 客員研究員
すげやま ひろむ
杉山 広

特別講演

寿司・刺身で魚介類を生食する機会が多いわが国では、この和食の文化に関連した寄生虫症が継続的に発生しています。中でも「アニサキス」は感染の体験を発信する芸能人も多く、ご存知の方も多いため、感染してどのような病気になり、それをどう防ぐ工夫がなされているのか、ご紹介します。

第2回 8月1日(木) 十和田市民文化センター 生涯学習ホール 18:30~20:00



風景から読み解く十和田の自然と人の歴史 ～地球と地域の環境変動～

青森公立大学
経営経済学部地域みらい学科 教授
みつら ひでき
三浦 英樹

特別講演

毎日、なにげなく見ている身近な風景は、地形、植物、気候等の自然の歴史に加えて、それを利用してきた人々の歴史とも深く結びついて作られています。風景に記録された地域の自然の生い立ちを第四紀という新しい地質時代までさかのぼって考え、どのような変動を経て現在に至ってきたのかを地球規模の視点から読み解きます。

第3回 8月8日(木) 北里大学獣医学部 111教室 18:30~20:00



ナノバブル技術に ついて知ろう

陸水循環学 准教授
まいえ えいけい
眞家 永光

超微細気泡（ウルトラファインバブル、ナノバブル）は、日本発の画期的な技術であり、今や様々な産業で活用されるようになりつつあります。今回の講演では、ナノバブルの基礎から、ナノバブル技術を利用した、水環境の改善に関する私の取り組み、さらに、ナノバブル技術の可能性について紹介します。

第4回 8月22日(木) 北里大学獣医学部 111教室 18:30~20:00



動物園を科学する ～動物園と科学の世界の関係～

動物行動学 講師
おぐら たかとし
小倉 匡俊

日本ではたびたび「動物園ブーム」が巻き起こります。しかし、動物園と科学の世界が密接な関係にあることは、あまり知られていません。動物を科学的に知ることが動物園での飼育展示の第一歩です。本講座では動物園に暮らす動物を対象とした科学的な取り組みについてご紹介します。

第5回 8月29日(木) 北里大学獣医学部 111教室 18:30~20:00

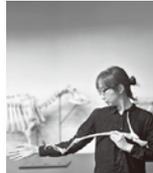


米飯に由来する食中毒と 微生物の知られざる舞台裏

人獣共通感染症学 教授
ふう どんりやん
胡 東良

米飯や弁当は微生物が増殖しやすい環境を提供するため、調理・保管の段階での不適切な衛生状態ではセレウス菌やブドウ球菌などの微生物が増殖し食中毒を引き起こします。本講座では、米飯や弁当などに潜まれている健康に悪影響を及ぼす微生物、米飯に由来する食中毒の発生とその予防対策を紹介します。

第6回 9月5日(木) 北里大学獣医学部 111教室 18:30~20:00



鳥の不思議を 解剖する

獣医解剖学 助教
ふかさわ ほなえ
深沢 英恵

鳥は羽や翼を持ち、その多くは飛ぶことができます。さて、「解剖」とは生物の形や機能を調べる方法です。「解剖学的」に鳥をみると、哺乳類動物と似ている点や異なる点があることがわかります。本講座では、骨格や翼など、鳥が持つ不思議な構造や魅力的な形についてご紹介します。

第7回 9月12日(木) 北里大学獣医学部 111教室 18:30~20:00



動物の舌から探る 味覚の世界

動物代謝機能学 講師
たかはし たつゆき
高橋 辰行

味覚は、食物を口に入れたときに舌などで味を感じる感覚であり、私たちにとって日々の食事を楽しむためには欠かすことができません。ではヒト以外の動物も舌で味を感じているのでしょうか？本講座では、動物における味覚の役割、味を感じる仕組み、動物種による違いをご紹介します。動物の味覚の奥深さを存分に味わってください。

第8回 9月19日(木) 北里大学獣医学部 111教室 18:30~20:00



十和田市における 自然と人との接点を計る

里山環境学 准教授
きしの けんじ
柿野 巨

十和田市には、「水の都」といってよい程の健全な水の恩恵があります。この恩恵を100年以上先まで保つにはどうしたらよいでしょうか？本講座では、市内複数の小学校児童達との水域の保全事例や当該水域に生息する生きものの生態を紹介し、今後の保全方策や自然との接点になり得る諸活動について考えたいと思います。

終了後 閉講式

●開講時間・会場にご注意ください!

獣医師会のほけん

公益社団法人日本獣医師会 福祉共済事業

所得補償保険

団体割引
20%

オプション
①休診時の
事業支出の補償

オプション
②代診医の
雇入れ費用の補償

無事故戻し
返れい金 20%

保険期間が満了し、保険期間中に、就業不能・就業障害の発生がなかった場合、無事故戻し返れい金をご加入者にお返しします。

先生ご自身が病気やケガで診療できず休診した場合に備えていますか？

火災や水災などにより病院施設に損傷があった場合や、設備の電氣的・機械的事項によって休診の場合の事業支出を補償するのは火災保険がありますが、
医師が病気やケガで診療できないときの休診補償には、本特約がお役に立ちます。

獣医師が病気やケガで
診療できない時



万が一の休診の際の
事業支出(固定費)



代診医を雇い入れた時の
費用



獣医師が病気やケガになって休診する場合、
従業員の給与などの事業支出(固定費)はかかります。

獣医師が病気やケガで診療できないときの
休診補償それが

①「事業主費用追加補償特約」です!

皆さまの声を
保険にしました!



獣医師が病気やケガになって、代診医を雇い入れる場合、
給与、手当等がかかります。

獣医師が病気やケガになって
代診医を雇い入れる時の費用補償それが

②「事業主費用補償特約」です!



スマートフォンからも資料請求いただけます。QRコードからアクセスしてください。

問い合わせ先

幹事取扱代理店

株式会社安田システムサービス

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー29F

TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700

受付時間 平日/午前9時から午後5時まで

Mailでの受付を始めました。

njkyousai@nichizei.com(受付時間:24時間365日)

引受保険会社



損害保険ジャパン株式会社

団体・公務開発部第二課

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL.03-3349-5402 FAX.03-6388-0161

受付時間 平日/午前9時から午後5時まで

SJ24-01081 (2024/04/24)

今までも、これからも。
「生命の未来」のために尽くしたい。

獣医師・畜産用医薬品、ワクチン類、器具機材、
プレミックス製造販売総合商社

小田島商事株式会社

代表取締役社長 小田島 隆

本 社	岩手県花巻市卸町66番地	TEL 0198(26)4151
青森営業所	青森市問屋町2丁目13番18号	TEL 017(738)1224
八戸営業所	八戸市大字大久保字小久保尻17-4	TEL 0178(34)2284

● 営業所一覧 ●

花巻営業所	TEL 0198(26)4700	旭川営業所	TEL 0166(46)0270
大船渡営業所	TEL 0192(26)4740	札幌営業所	TEL 011(813)1300
横手営業所	TEL 0182(33)5404	帯広営業所	TEL 0155(58)1380
古川営業所	TEL 0229(26)4567	北海道物流センター	TEL 0155(58)1381
山形営業所	TEL 023(633)5333	釧路出張所	TEL 0154(31)5575
酒田出張所	TEL 0234(26)4666	プレミックス工場	TEL 0198(26)4726
福島営業所	TEL 024(553)6678	家畜衛生食品検査センター	TEL 0198(26)5375
		卸センター給油所	TEL 0198(26)4822



メディパルグループ



動物の健康はヒトの健康につながる

●動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康を守ります。

●安全な畜水産物の生産をサポートし、食の安全・安心と自給率の向上に貢献できる会社を目指します。



MPアグロ株式会社

本社 〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13
TEL 011(376)3860 FAX 011(376)2600
<http://www.mpagro.co.jp/>

東北営業部 青森支店 TEL 0178-20-2011 FAX 0120-446902

事業所一覧
東京本部・岡山オフィス・福岡オフィス
札幌・旭川・北見・帯広・釧路・函館・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・東京・北関東
大阪第一・大阪第二・兵庫・岡山・広島・山口・鳥取・島根
高松・徳島・松山・宇和島
福岡第一・福岡第二・熊本・宮崎・鹿児島・鹿屋
AHSC(アニマルヘルスサポートセンター)
MPアグロ
札幌・帯広・盛岡・関東・御津・各物流センター



日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

www.zenoaq.com



はたらく環境づくり

Activity Based Working



Technol

東北化学薬品株式会社

TOHOKU CHEMICAL CO., LTD

OUR SERVICE

研究分野の試薬・消耗品・機器 トータルソリューションを提供する

食品分野

農業資材分野

ヘルスケア分野

臨床検査試薬分野

化学工業薬品分野



明治アニマルヘルスは 狂犬病の予防啓発に取り組んでいます。

飼い主の皆さまへ向けて



リーフレット
「狂犬病について考えてみよう」



アニメーション「狂犬病ワクチンを注射しましょう」



動画はこちら



※本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用してください。

meiji 明治アニマルヘルス株式会社
熊本市北区大窪一丁目6番1号

YES! we do

癒す
動物のこと考えてます。



私達は動物用医薬品の供給により

動物・ペットの様々な病気を癒すサポートをし、

さらにそれが人々の心の癒しとなることを願います！

株式会社 アグロジャパン

本社・〒950-0134 新潟県新潟市江南区曙町5丁目1番3号

北東北営業部 青森チーム TEL・0176-23-7231 FAX・0176-24-0290

令和6年7月1日

発行所 青森市松原二丁目8の2

公益社団法人 青森県獣医師会

TEL 017(722)5989

FAX 017(722)6010

Email ao-vet@smile.ocn.ne.jp

印刷所 青森市幸畑松元62-3

青森コロニー印刷

TEL 017(738)2021

FAX 017(738)6753